

孔子学院

ci.cn

孔院人的云上家园



CONFUCIUS INSTITUTE

孔子学院全球门户网站 (ci.cn) 以服务全球孔院学员、教师为出发点, 设有“中文课堂”“学术天地”“文化视窗”“活动空间”“合作伙伴”等重点栏目。同时, 网站还将为所有孔院配套设置具备信息展示、资源获取、课程管理、对外联络等功能的独立子站, 推动各孔院线上线下融合发展, 更好实现数字化转型, 实现全球孔院互联互通!



ci.cn

即刻登陆 ci.cn, 体验不一样的云端孔子学院!

RMB 16/ JPY 550

ISSN 1674-9693



孔子学院

CONFUCIUS INSTITUTE

孔子学院

2022 NO.4

兵马俑, 中国古代文明的一张金字名片
 兵马俑、中国古代文明の偉大な足跡

中日文对照版 汉日对照版 / 2022年第4期 / 总第66期 / 双月刊
 国际刊号: ISSN 1674-9693 / 国内刊号: CN11-5963/C



孔子学院

孔子学院

主管：中华人民共和国教育部
主办：中国国际中文教育基金会

主管：中華人民共和國教育部
企画・編集：中國國際中文教育基金會

编辑出版：《孔子学院》编辑部
办：上海外国语大学
总编辑：赵灵山 李岩松
副总编辑：郁云峰 张静
主编：张雪梅 朱亚军
副主编：毛小红 钱明丹
编辑：傅英 卢偲怡
主审：高洁
审校：张丽丽 于帆 李翔

編集出版：『孔子学院』編集部
共同編集：上海外國語大學
総編集長：趙靈山 李岩松
副総編集長：郁雲峰 張靜
編集長：張雪梅 朱亞軍
副編集長：毛小紅 錢明丹
編集：傅英 盧偲怡
主審：高潔
審校：張麗麗 于帆 李翔

美术设计：张灵芝 朱浩晔（特约）
排版：上海景皇文化发展有限公司
印刷：上海中华商务联合印刷有限公司
国际连续出版号：ISSN1674-9693
国内统一刊号：CN11-5963/C
邮发代号：80-752

デザイン：張靈芝 朱浩晔（特約）
組版：上海景皇文化發展有限公司
印刷：上海中華商務連合印刷有限公司
國際標準逐次刊行物番號：ISSN1674-9693
中國國內統一發行番號：CN11-5963/C
郵便登錄番號：80-752

定 价：RMB 16/JPY 550
编辑部地址：北京市海淀区学院路 15 号
邮政编码：100083
编辑部电话：0086-10-63240631
网 站：www.ci.cn
上海编辑部地址：上海市虹口区大连西路 550 号
电 话：0086-21-35373252
投稿邮箱：ci.journal@ci.cn
刊名题字：欧阳中石
内文题字：寂度山翁
封面供图：摄图网

定 価：16 元 /550 円
編集部住所：北京市海淀区学院路 15 号
郵便番號：100083
電話番號：0086-10-63240631
ホームページ：www.ci.cn
上海編集部住所：上海市虹口区大連西路 550 号
電話番號：0086-21-35373252
メールアドレス：ci.journal@ci.cn
中国語題字（表紙）：歐陽中石
中国語題字（本文）：寂度山翁
写 真：www.699pic.com



目 录

目 録



文化视窗

文化ウィンドウ

- 04 兵马俑，中国古代文明的一张金字名片
苍玉
- 14 西安地铁：移动的历史书
贾蕾
- 18 唐大明宫：中国宫殿建筑的巅峰之作
张琳
- 26 何尊里的“中国”
陈亮
- 04 兵馬俑、中国古代文明の偉大な足跡
- 14 西安メトロ：動く歴史教科書
- 18 唐の大明宮：中国宮殿建築の最高傑作
- 26 何尊が語る「中国」

汉语学习

中国語学習

- 32 《国际中文教育用中国文化和国情教学参考框架》评介
吴勇毅
- 36 从日本学习者角度来看《国际中文教育中文水平等级标准》高等词汇
古川裕
- 40 古诗今译：阳春歌
[唐]李白
- 42 路遥：“平凡”中方显生命力
王赟
- 32 『国際中国語教育用中国文化及び国情教育参考骨組み』の解説
- 36 日本人学習者の立場から『国際中国語教育中国語レベル等級基準』高等語彙を見る
- 40 古詩解読：陽春歌
- 42 路遥：普通にこそ生命力がある



摄影：魏彬 魏彬

当代中国

当代中国

- 48 西安：一座没有围墙的历史博物馆
陌上尘
- 54 油泼辣子biangbiang面：穿越历史的陕西面食
萝卜丝
- 60 一骑的中国大冒险 其五
西游记——丝绸之路旅程终于临近西安
宫崎一骑
- 68 我的东瀛工艺寻迹（上）
张宇
- 48 西安：困いのない歴史博物館
ヨウポーラーズ
- 54 油泼辣子ビャンビャン麺：時空を越える陝西
の麺
- 60 一騎とミドルキングダムの冒険 その5
西遊記～シルクロードはとうとう西安へ～
- 68 私の日本の工芸探訪（前編）

孔院链接

孔院リンク

- 72 疫情之下的孔子课堂
张光磊
- 76 海外孔院活动异彩纷呈
- 72 コロナ禍の下での孔子教室
- 76 海外の孔子学院の活動が異彩を放つ

导语

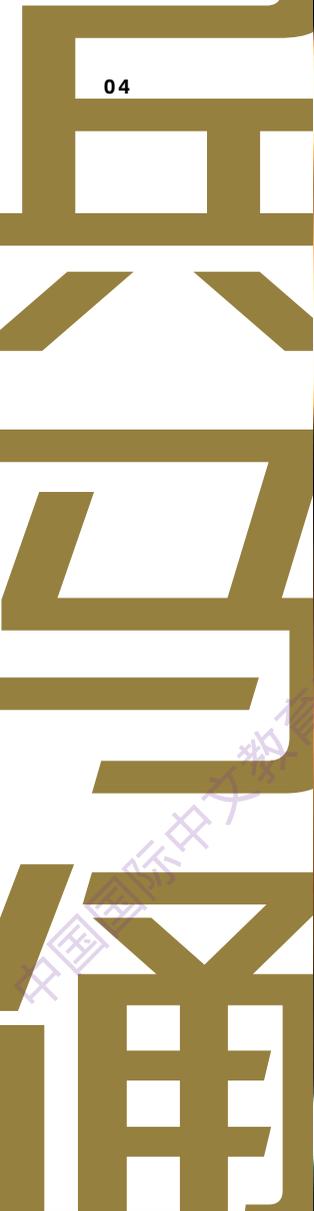
前書き

本期《孔子学院》将带您走进十三朝古都西安。

您将跟随“何尊”，探寻“何以中国”的奥秘，透过兵马俑，见证古代中国劳动人民的智慧；您还能饱览古都的现代风采。去大唐不夜城，体味“真人不倒翁”摇曳下的多姿长安；到袁家村，品尝地道的陕西风味；游十二时辰景区，欣赏从盛唐走来的衣香袂影……

最新号の『孔子学院』ジャーナルでは、中国歴代13の王朝の都である西安についてご案内致します。

ここでは、青銅器の「何尊」を手がかりに、「中国」という言葉の成り立ちを探ったり、兵馬俑を通して古代中国の労働者の知恵を訪ねたりすることができます。と同時に、歩行者天国の「大唐不夜城」で披露されるリアル「起き上がり小法師」のパフォーマンスや、「袁家村」で味わえる本場の陝西料理、「十二时辰」で唐の時代を彷彿させるレトロな衣装や街並みなど、古都西安の今の姿もご堪能いただけます。



秦始皇陵兵马俑是中国古代文明的一张厚重而靓丽的金字名片。它以恢弘的气势和精湛的工艺为世人还原了2200多年前的秦帝国风貌，是华夏文明乃至世界文明不可或缺的重要组成部分。

秦の始皇帝陵の兵馬俑は、中国の古代文明の重みと美しさを持つ偉大な足跡である。そして、その壮大な勢いと精巧な技術により、今を生きる人々に2200年余り前の秦帝国の姿を再現し、華夏文明ひいては世界の文明に欠かせない重要な一部分となっている。

兵马俑，
中国古代文明
的一张
金字名片

兵馬俑、中国古代 文明の偉大な足跡

作者：苍玉 蒼玉
翻译：山建国 山建国

摄影：魏彬 魏彬

1974年，陕西省西杨村的村民在打井的过程中意外发现了陶俑残片，让被掩埋了20多个世纪的地下军团重现天日。考古学家在陶俑的墓坑中发现了一柄铜戟，根据上面的文字记载推断出墓坑的主人正是大秦王朝的缔造者——秦始皇。

秦始皇陵兵马俑是秦始皇陵园的一部分，作为秦始皇的随葬品，以凸显墓主人的身份、地位和财富。中华民族非常重视丧葬文化，殉葬制度是丧葬文化的重要体现，早在殷商时期，就有用

1974年、陕西省西楊村の村民が井戸を掘る過程で意外にも陶俑（古代の墳墓の副葬品となった陶器の人物）の破片を発見し、2200年余りの間、地中に埋まっていた軍隊が日の目を見た。考古学者は陶俑の墓坑から銅製の武器である「戟（げき）」を発見し、表面に刻印された文字から、墓の主人は秦王朝の創始者・始皇帝であると断定した。

始皇帝陵の兵馬俑は陵園の一部であり、始皇帝の副葬品として、墓のあるじの身分、地位、そして財力を表している。中華民族は葬儀と埋葬の文化を非常に重視し、死者とともに人や財宝、器物を埋葬する副葬制度はそれを如実に示しており、早くも殷（商）時代には奴隸



奴隶为奴隶主殉葬的记载。后来，人们的思想逐渐进步，统治者也意识到人力资源的重要性，这才慢慢用“俑”来替代人殉。所谓“俑”，就是用木头或陶土制成的人偶。然而，中国古代圣贤孔子曾十分反对人俑陪葬制度，他认为这和用活人陪葬没有区别，都是“不仁”的行为。

秦始皇自13岁登基后便下令修建自己的陵墓，修建时长近40年，一直到他驾崩、入葬，陵墓都未能彻底竣工。秦始皇动用全国的人力、



が奴隷主のために副葬されていたという記載がある。その後、人々の思想が進歩すると、統治者は人の労働力としての重要性を認識するようになり、「俑」を生身の人の代替として埋葬するようになった。いわゆる「俑」とは、木や陶土で作られた人の像である。しかし、中国の古代の聖賢である孔子は、かつて人をかたどった像を埋葬する制度にも強く反対していた。なぜならこの制度は生身の人を埋葬するのとなら変わりなく、どちらも「非情な」行為だと考えていたからである。

始皇帝は13歳で即位した後、自身の陵墓を建設する命令を出した。しかし建設に40年近くを要しながらも、始皇帝が崩御して埋葬されるまで、この陵墓は完全には完成しなかった。始皇帝は中国全土の人、物、金を総動員して万里の長城や阿房宮などいくつかの偉大な建築を完成させたが、自身の陵墓に対しては、さらに神経をすり減らした。

漢の時代の歴史家である司馬遷の記載によれば、始皇帝はかつて驪山の陵墓建設のためだけに70万人を超える人を呼び寄せた。これらの労働者は「驪山徒」とも呼ばれる。これほどの規模の建設プロジェクトや職人集団ともなれば、管理者には極めて優れた管理能力が要求され、それによりはじめて効率的に工程を管理し、陵墓の建設を進めることができる。皇帝陵の管理者は秦の将軍である章邯で、彼は軍隊を管理する手法を用いて驪山徒を管理し、建設作業の効率を大幅に向上させた。同時に秦の人々には責任追及のメカニズムがあり、陶俑の1体ごとに制作した職人の名前が刻印されている。陶俑の品質に問題があれば、その責任を徹底的に追及するためである。

陶俑は本来の姿を忠実に再現しており、汚れを落とした陶俑を見ると、1体ごとに顔の形が異なり、ひげや髪型、さらには顔の筋肉の動きや骨格の起伏などにいたるまで、いずれも「十人十色」の特徴が表現されている。これらの顔の特徴は、現在の陝西省の人の顔にも表れている。風貌が本物の人に限りなく近いだけでなく、兵馬俑の体型は大きくてたくましい。直立した弓兵を例に挙げると、平均身長は1.8メートルを超えている。また、兵馬俑の服装は秦代の特徴を生き生きと再現しており、陶俑の兵科や任務の属性だけでなく、兵士間の等級の高低も見て取ることができる。秦代の職人は細部に一切の妥協を許さず、陶俑の毛髪、靴底の模様、手のひらの掌紋、ねじ曲がったよろいの甲片（よろいに付けられた金属や革の小さな板）などがはっきりと確認できる。

多くの兵馬俑には色があるが、環境の変化や時間の経過により、出土したときは色あせた状態であった。実際には1体の陶

物力、财力，修筑了若干伟大的建筑，其中包括长城、阿房宫等。对于自己的陵墓，他更是耗尽心力。

据汉代史学家司马迁记载，秦始皇曾招来70多万人专门在骊山修建陵墓，所以这群劳动者又被称为“骊山徒”。面对如此规模的制造工程、如此庞大的工匠队伍，管理者需要极强的管理能力才能高效地统筹、推进陵墓修建。皇陵的管理者是秦朝大将章邯，他用管控军队的方法管理骊山徒，大大提高了工作效率。同时，秦人还有问责机制，在每一尊陶俑上都刻下制作工匠的名字，如果出现质量问题，也方便追责到底。

陶俑的设计充分体现了写实风格，从已清理好的陶俑来看，几乎每一尊的面部形象都不相同，无论是胡子、头发的样式，还是面部肌肉的走向、骨骼的起伏等，都体现出“千人千面”的特点，这些面部特征在如今的陕西人脸上仍有体现。除了外貌无限接近真人，兵马俑的身材还多高大魁梧，以站立的弓箭手为例，其平均身高都在1.80米以上。兵马俑的服饰也生动还原了秦代的特点，不仅可以体现陶俑的兵种或工作属性，还可以体现彼此间的权位高低。秦代工匠更是不放过任何一个细节，陶俑的发丝、鞋底的纹路、手心的掌纹、扭曲的铠甲甲片都清晰可见。

多数兵马俑是有颜色的，不过由于环境变化、历史原因，很多兵马俑在出土之时便已少有色彩。实际上，一尊陶俑包含红、褐、蓝、绿、黑、白、黄、紫等颜色，再加上深浅浓淡的变化，兵马俑的颜色种类就有十多种之多。其中，紫色的出现更是令人称奇，这种颜色并非直接提取自矿石，而是人工合成的硅酸铜钡，这种一般被认为出现于20世纪80年代的技术，竟在中国秦

俑に赤、褐色、青、緑、黒、白、黄、紫などの色があり、さらに濃淡の変化を加えると、色の種類は10色余りに上る。その中で紫色の出現は人々を驚かせた。なぜならこの色は鉱石から直接抽出したのではなく、人工合成のケイ酸銅バリウムだからである。一般に20世紀80年代に登場したとされるこの技術が、中国では秦、場合によってはそれより前の戦国時代に成熟していたことになる。最新の研究では、驪山徒は卵白や陶粉（焼き物の原料を粉末状にしたもの）などの物質でタンパク接着剤を作り、陶俑の破損部分を修復していた。職人たちは伝統的で素朴な民間の知恵で彫刻の作業に従事し、秦の軍隊が繁栄を極めるといふ神話を作り上げたのである。

始皇帝陵の兵馬俑には合わせて3つの墓坑がある。その3つは並行しており、それぞれに独自の配列の規則があって、秦の時代の戦争における戦略配置を忠実に再現している。

1号坑は長方形で、長さ230メートル、幅62メートルでサッカーコート2面分に近い総面積を持ち、これまでに発掘されたのはその3分の1である。1号坑は歩兵が中心で、さらにその中間部には少数の木製戦車が差し挟まれ、2つの部隊が始皇帝の主力軍を形成している。戦車による戦闘が盛んだった殷（商）時代や春秋時代において、歩兵は戦車に付随した戦力でしかなかったが、戦国時代になってその地位が徐々に向上した。戦国時代以降、戦車は従来のかさばって重く、大きな外形を改め、コンパクトで機動性に優れたものになった。このような軽戦車は地形に対する順応性がより高いため、攻撃が容易で、急襲に適していた。これにより、敵軍の準備が整わぬ間に相手の陣形を崩し、戦略を打ち破り、士気を低下させることができた。

秦の統一以前の時代には「魚麗之陣」という典型的な戦車の陣形があった。この陣形では、それぞれの戦車に3人の兵士が乗り、隊列の前方に陣取る。歩兵は武器を手にもたせ5人1組となり、戦車の左右または後方に配置されて隙間を埋め、部隊全体に強い一体感を持たせた。1号坑はいくつかの「魚麗之陣」の組み合わせで形成されており、壮大な一体の美を表現している。兵や戦車の立ち位置を残しているほか、軍隊の前方にはよろいを身に着けない部隊がいる。彼らこそが、後の世に「決死隊」と



摄影: Scandidea



摄影: Ricardo Rocha

代甚至更早的战国时期便已纯熟。最新的研究发现，骊山徒还会用鸡蛋清、陶粉等物质制作蛋白粘合剂修补破损的陶俑。他们用古朴的民间智慧雕琢、篆刻，造就了秦代军团的盛世神话。

秦始皇陵兵马俑坑一共有三个墓坑，三者并行，每一个墓坑都有着独特的排布规则，真实再现了秦代战争的战略布局。

一号坑呈矩形，长230米，宽62米，总面积近似于两个足球场的面积，如今已发掘三分之一。该坑以步兵为主，中间穿插少量木质战车，两个军种共同组成了秦始皇的主力军队。在车战兴盛的殷商时期和春秋时期，步兵只是战车的附属。一直到战国时期，其地位才渐渐提高。战国以后的战车一改前朝笨重、宽大的外形，十分灵巧、轻便。这种轻型战车对地形的包容度更大，而且易于冲击，很适合突袭，可以趁敌方不备，打乱其阵型、破坏其战略、扰乱其军心。

先秦时期有一种非常典型的兵车阵型——鱼丽之阵，每辆战车承载三名军士，居于队列前方，步兵则手握兵器，五人为一组，居于车马旁侧或后部，用以填充间隙，使整个队伍成为密不可分整体。一号坑由若干个“鱼丽之阵”组合而成，体现了壮阔的整体之美。除了保留兵、车的站位，军队正前方还有一支不穿铠甲的队伍，这就是后世所称的“敢死队”。他们与步兵、车马相互配合，既能灵活应对敌军来袭，又可以发挥兵、车的战力，最大限度地保证秦军的攻击力。

既有如此庞大的阵型，那行伍之间定然有等级之分。一号坑里最多的便是手执弓弩、长矛、



摄影：魏彬 魏彬

呼ばれる者たちである。彼らは歩兵、戦車と協力し合い、敵軍の来襲に対して機動的に対応するだけでなく、兵や戦車の戦力を引き出し、秦軍の攻撃力を最大化することができた。

これほど大規模な陣形の中では、部隊の間の等級が必ず存在した。1号坑に最も多いのは弓、やり、刃物を持つ武士俑である。それ以外に、専門家は陶俑の着衣から、3つの等級の将校の存在を考証している。陶俑にはほほ笑みや重々しい表情を浮かべるものがあり、秦軍の勇ましい様子を表現している。

2号坑の面積は1号坑の約半分、兵科は弓兵、戦車の御者、そして騎兵の3種類とさらに複雑である。2号坑の戦車は80台余りもあるが、陶俑および陶馬は2000体前後であると推定されている。2号坑の陣形は1号坑と類似点がありながらも、北東の角には300体を超える弓兵の部隊が最前線に配置されているという特徴がある。弓兵の中には、腕の力で矢を射る軽装兵や、足の力で弓を張る重型兵があり、射法によりその姿勢が異なる。また、直立姿勢の者は「立射俑」、片膝をついた姿勢の者は「跪射俑」と呼ばれる。



刀具的武士俑。除此之外，专家还根据陶俑的穿着，考证出三个等级的军官。这些陶俑或面露微笑，或神色凝重，体现了秦军的英勇气势。

二号坑的面积约是一号坑的一半，其中的兵种更加复杂，包括弓弩手、战车驭手和骑兵三种。单是这里的战车就有80余乘，陶俑、陶马预计2000件左右。二号坑的阵型与一号坑有相似之处，但其东北部的角落里有一支由300多人组成的弓弩手方队，排在军队的最前方，弓箭用手手臂之力张弓射箭，属于轻装兵；弩机手依靠足部力量张弓，属于重型兵。不同的发力方式决定了弓弩手的姿势。呈立姿的可称为“立射俑”，单膝跪地的可称为“跪射俑”。

目前出土的跪射俑高120—130厘米，有的梳侧发髻，有的头发盘在脑后正中。他们身着铠甲，左臂置于左腿上，右臂弯曲，虎口微张，置

现在出土している跪射俑の高さは120～130センチメートルで、側頭部にまげを結う者や、後頭部の真ん中にまげを結う者がいる。彼らはよろいを身につけ、左腕を左足の上に置き、右腕を曲げて、手を少し開き、体側に置いている。専門家の分析によれば、跪射俑が左手に握っているのは弩（いしゆみ）のアーム部分で、右手は引き金の上に置いていると考えられる。彼らは左膝でしゃがみ、右膝で地面にひざまずき、左足を地面につけ、右足で支え、この安定した姿勢により発射の正確性を最大限担保している。跪射俑にはこれらの特徴が忠実に再現され、非常に科学的である。

3号坑の面積は最も小さく、1号坑の約20分の1で、ここは独立した指揮センターである。これは秦軍が指揮グループを一行に並べ、指揮官の安全を確保すると同時に、戦況を観察して準備を整えたことを意味している。ゆえに3号坑は漢字の「凹」の形に似ており、真ん中のくぼみに戦車やそれに関連する人員を配置し、両側の隆起した部分に若干の歩兵を配置することで、戦車の安全を担保することができる。3号坑の南北両側に

于体侧。据专家分析，跪射俑的左手握住的是弩臂，右手则置于弩机上。他们左膝蹲起，右膝跪地，左足抵地，右足支起，这样稳定的结构能最大限度地保证射击的准确度，具有很强的写实性和科学性。

三号坑的面积最小，约为一号坑的二十分之一，是一个独立的指挥中心，这意味着秦军将指挥团队单列，一方面保证了指挥官的安全，另一方面为观察战况做足了准备。正因如此，三号坑形似汉字“凹”，中间凹陷的部分是战车及其配套人员，两侧隆起的部分则排列了若干步兵，可以保护车架的安全。在三号坑南北两侧还有两个相对空置的空间，专家从此处发掘出铜钉、门楣等物品，推测这里可能悬挂帷布，作为指挥部而存在。三号坑出土的战车和一号、二号坑不同，配有四名陶俑，军吏俑站在中间后侧，身着重型铠甲，手中持有一种适合自卫的小型武器——笄（shū），同时它也常作为仪仗兵器而出现。军吏俑前面是驾车的驭手俑，两侧是两尊随车而站的车士俑。除了车马和兵俑，三号坑里还有用于占卜的物品，用于预测战事吉凶。

作为千古一帝的陵寝，秦始皇陵的壮观远不止此。秦始皇陵周围的陪葬坑除兵马俑坑外，还有马厩坑、珍兽坑、百戏俑坑等。随着科技的进步和研究的深入，未来的秦始皇陵会出土更多珍宝，继续向我们讲述2200年前的秦帝国的峥嵘岁月和中华文华传奇。



摄影：Evilomthai

は相対的に空いている2つの空間がある。専門家はここから銅製のくぎや鴨居などの物品を発掘しており、この場所に布をかけて、司令部としたのではないかと推測している。3号坑で出土した戦車は1号坑、2号坑とは異なり、陶俑が4体配置されており、軍吏（軍隊の経理行政事務をつかさどる役人）俑が中央後部に立ち大型のよろいを着用している。そして手には「笄」という武器を持つ。これは防御用の小型の武器で、しばしば儀礼用の武器としても登場する。さらに軍吏俑の前には車を操る御者俑があり、両側には車に乗って立っている2体の車士俑がいる。車馬と兵俑のほかに、3号坑には戦争の吉凶を予測するための占いの道具もある。

始皇帝陵は千年に一代の皇帝の陵墓として、その景観の素晴らしさはこれらにとどまらない。始皇帝陵の周囲にある人や物を副葬品として埋葬する陪葬坑には、兵馬俑坑のほかに馬厩坑、珍獣坑、百戲俑坑などがある。科学技術が進歩して研究が深まるにつれて、今後より多くの貴重な物品が出土し、私たちに2200年前の秦帝国の波乱に満ちた歳月中中華文化の伝説を語り継いでくれることだろう。 ❷





西安地铁： 移动的历史书

西安メトロ： 動く歴史 教科書

又一次来到西安旅行，我发现了一个很不一样的地方，一个当地人可能习以为常，而我却迫不及待想跟人分享的地方。它洋溢着独一无二的西安特色，满含历史的一颦（pín）一笑，诠释着古都喧嚷的盛世图景；它默默驻守在地底，每日给现代都市输送着血液养分，如同这座悠久城池坚韧的筋骨。它就是西安地铁及其充满文化底蕴的站名和站内装饰风格。

また旅行で西安を訪れ、ある特別なことを発見しました。地元の人たちにとっては当たり前かもしれませんが、私はどうしても誰かと共有せずにはいられませんでした。他では見られない西安らしさに溢れ、古都として栄えていた様子を覗かせ、歴史の重みを感じさせてくれるのです。歴史あるこの町の大動脈のように、静かに地下で動き回り、近代都市となった今の西安の隅々まで血液と栄養を届けています。その名は西安メトロ。その文化的要素に溢れた駅名と駅デザインについてご紹介しましょう。

作者：贾蕾 贾蕾
翻译：韩宇 韩宇



西安这座国际化大都市早在20世纪90年代就出台了地铁修建规划，但是规划的真正实施和运行却比其他城市要艰难而且缓慢得多。因为西安是块风水宝地，一铲子下去说不定就偶遇某个历史名人的古墓，又或者挖出几件国宝级的文物。当初在意大利罗马做中文教师，我和当地人聊起地铁的修建，可以说，和西安面临的问题一样，罗马地铁的修建速度也是慢得出名。罗马地铁修建人员把修建地铁时挖到的文物放置在地铁站做了博物馆式的陈列，而西安地铁修建人员的处理方式更理想化一些，他们选取与每站相关的历史文化元素，将其融入地铁站标和文化墙的设计，形成了“一站一标、一站一景”的独特文化景观。

国際都市である西安では、1990年代から地下鉄の建設計画が進められていましたが、計画の実施も正式の運行も他の都市と比べてはるかに困難で、多くの紆余曲折がありました。なぜなら、西安にはパワースポットが多く、シャベル一つで歴史上の有名人のお墓に出会ったり、国宝級の宝物が姿を現したりすることもあるのかもしれない。実は私がローマで中国語教師として働いている時、地下鉄建設について現地の人たちと話をしたことがあります。まさに西安と同じように、ローマの地下鉄建設もなかなか捗らないことで有名です。ローマでは、建設中に掘り出された文化財を博物館に近い感覚で最寄り駅で展示するようにしていますが、西安ではより工夫されているのです。それぞれの駅のロゴマークや駅構内の壁画には、ゆかりある歴史的・文化的要素を取り入れ、ここにしかない「ひと駅ひとロゴ、ひと駅ひと景色」という特別な体験を提供しています。

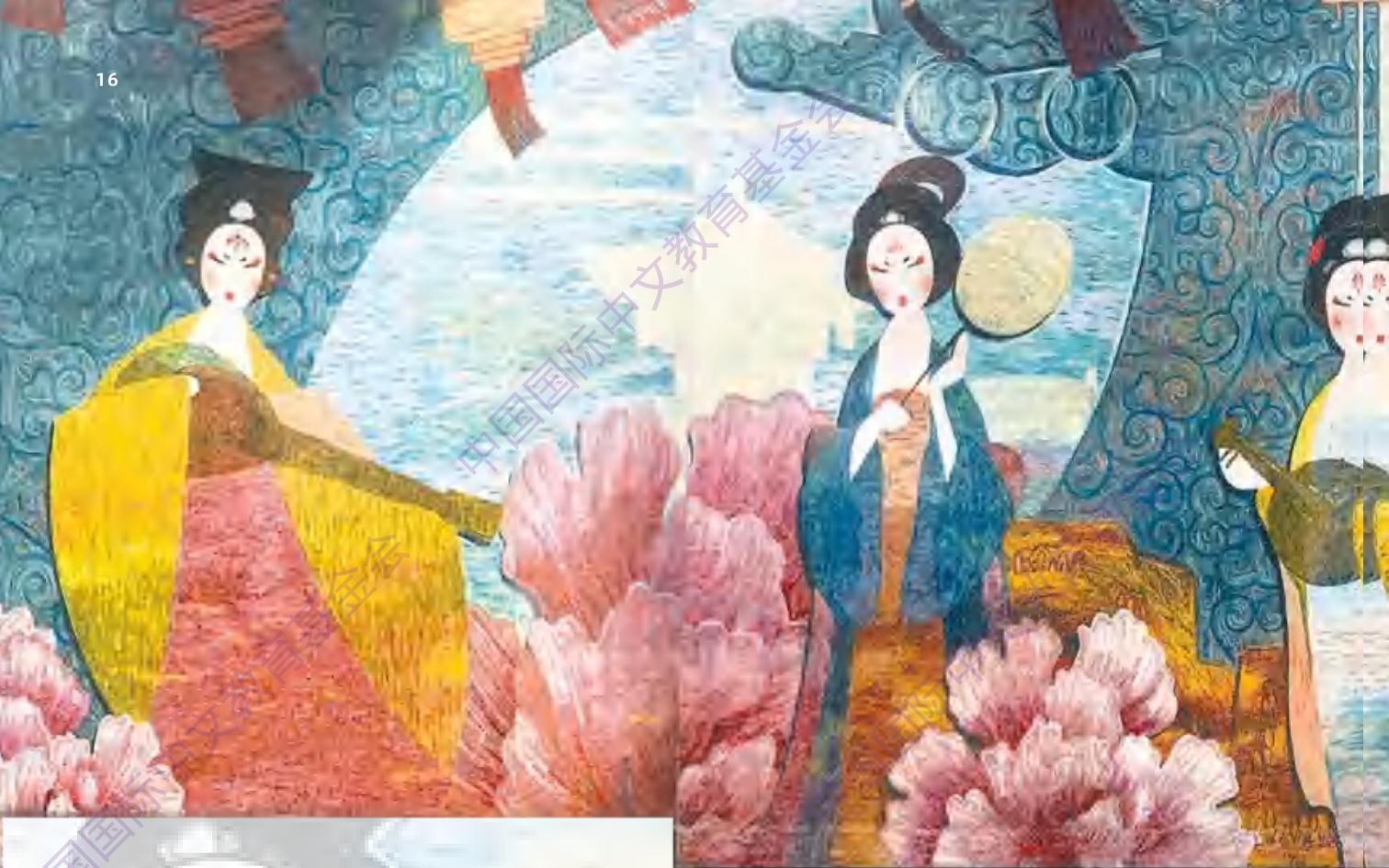
比如乘坐4号线去往大雁塔。一下车就能看到大雁塔站的醒目标识——一座唐代四方楼阁式砖塔的轮廓。大雁塔是为了供奉和珍藏三藏法师玄奘从印度请回的真经、佛像和舍利而修建的，是现代入寻觅玄奘漫漫取经路的胜地，如今已成为古都西安的标志性建筑之一，是游客来到西安的必打卡景

点之一。大雁塔站的站标非常有辨识度，外地游客一眼就知道自己已经抵达目的地，十分方便且充满趣味。

例えば、地下鉄4号線の大雁塔駅で降りると、すぐさま唐の時代に建てられた四面亭式煉瓦塔の輪郭を示す印象的なロゴマークが目飛び込んできます。元々大雁塔は、唐の高僧玄奘三蔵がインドから持ち帰った経典や仏像、仏舎利などを保存し、記念するために建てられた仏塔で、古都西安のランドマークの一つにもなっています。今では、シルクロード陸路でインドに向かう玄奘三蔵の姿に想いを馳せながら、多くの観光客に必見スポットとして親しまれています。大雁塔駅のロゴは大変分かりやすく、観光客なら誰でも一目で到着したことが伝わり、本当に便利で楽しいです。

后来走的地铁站多了，我就发现，每一站的徽标都很独特并且充满文化意蕴。比如秦宫站，站徽设计就直接选用了咸阳宫复原图。咸阳宫是秦始皇曾经居住的宫殿。现在的残垣断壁、一抔（póu）黄土，都述说着秦朝以来的纷纭文化与历史沧桑。又如文景路站，这一站靠近汉长安城，因纪念“文景之治”而得名。于是其站徽设计便采用汉代象征休养生息的牛耕田景象，以体现西汉初年“民以农为本、注重农桑”的治国理念。小小的徽标不仅诉说着千年历史，还蕴藏着深厚的文化积淀。曲江池西站的站徽以曲江池的景色和曲江亭为设计元素。据说，当年韩愈邀请白居易共赏曲江春景，但白居易因故未能赴约，于是韩愈在这里写下了名句“曲江水满花千树”，遥寄白居易，表达了未能与好友共赏美景的遗憾之情。

さらに西安の地下鉄巡りをしていくと、どの駅のロゴマークも独特で、文化的要素が織り込まれていることに気がきました。例えば、秦宮駅のロゴには、復元された咸陽宮の様子が採用されています。咸陽宮とは、かつて秦の始皇帝が住んでいた宮殿のことですが、今では廃墟と化した城壁や黄色い土の塊は、秦の時代から続く歴史の変遷を物語



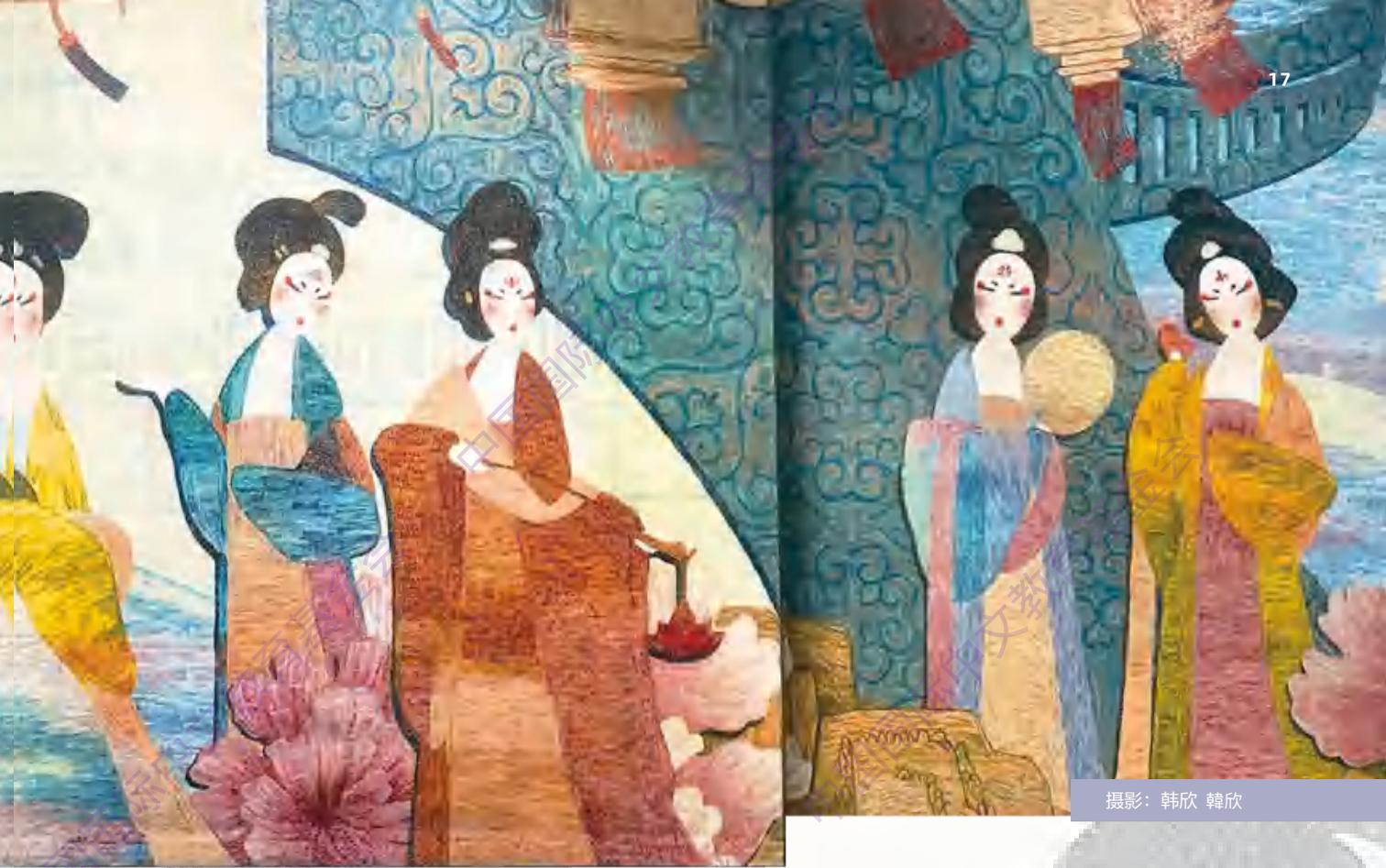
っているような気がします。また、文景路駅は漢の時代のお城に近いこともあり、「文景の治」にちなんで名付けられたと言われています。この文景路駅のロゴは、漢の時代に休養・休息の象徴とされる牛が畑を耕す様子をモチーフにし、そこから「農業と養蚕を最重要とする」という前漢初期の国家統治の理念が伺えます。ちょっとしたロゴですが、そこには数千年もの歴史が凝縮され、文化的に蓄積されたものもたくさん見られます。例えば、曲江池西駅のロゴには、曲江池と曲江亭のデザインが取り入れられています。逸話として有名な話ですが、当時、韓愈は曲江の春景色を楽しみたいと友人の白居易を招いたところ、白居易は事情があって出席できず、韓愈は友人と一緒に景色を楽しめなかったことを悔やみ、「曲江水満花千樹（曲江は水高く、木々に花咲き乱れ）」という名文を書き残したという。

西安地铁是全国唯一一个为每座车站设计独立站徽的地铁系统，方形的站徽好似一枚枚印章，与西安地铁总标识“城墙章”相互呼应，集辨识度与文化底蕴于一身的符号标志，配上颜真卿楷体的站名，车站标识显得古朴而优雅。这些标识从秦皇汉武、唐诗楷草中来，经由人们日常出行的道

路，流入了每一个西安人的血液之中。

中国の地下鉄の中で唯一、駅ごとの個別ロゴマークが採用されている西安メトロでは、その一つ一つのロゴは四角い印鑑のような形をし、西安メトロの総合ロゴである「城壁印」の姿と呼応しています。分かりやすさと文化的な意味を併せ持ったこれらのロゴには、顔真卿体という楷書フォントで駅名が書かれ、素朴でエレガントなものとなっています。秦・漢・唐の時代にゆかりを持つこれらのロゴマークは毎日の通勤通学路に飾られ、地元の人たちの日常生活の一部にもなっています。

不止如此，与这些徽标和站名呼应，每一站的走廊还设计了风景壁画，或还原了当时的历史场景，或展示了当地的特色文化，就连穹顶和立柱也都经过了悉心雕琢。大唐芙蓉园站的壁画里能看出《簪花仕女图》的影子，长安城中身着华服的雍容美人结伴游园，兴致盎然；大差市古时曾为驿站，所以大差市站内的壁画里，唐三彩造型的驿马在丝路之上飞驰，波斯商人牵着骆驼走过，乘客似乎都能听到清脆响亮的驼铃声；南稍门是小雁塔所在地，南稍门站内所有的立柱都是小雁塔式的多层建筑造型，并设计有长亮的挑灯，还



摄影：韩欣 韓欣

未见塔，脑中就浮现出“雁塔晨钟”的景色；北客站的壁画则展现了陕西的现代风貌，一幅《舞动陕西》展现了陕北安塞腰鼓的魅力，而另一幅《大美西安》以群山为背景，呈现出陕西的自然风光。这一面面色彩丰富、主题鲜明的文化墙兼具装饰与讲解作用，将古都西安的文化底蕴展现得淋漓尽致。

もちろん、駅名や駅ロゴだけでなく、駅構内のアーチや柱も丁寧に作られ、そのうち最も工夫されていたのは、間違いなく歴史的な瞬間を再現したり、地域文化を紹介したりする壁画でしょう。大唐芙蓉園駅の壁画には、あの有名な「簪花仕女図」を彷彿させるような、派手な衣装を身につけた女性たちが遊園地で楽しげに過ごしている様子が描かれています。他方、大差市は古くから宿場町として栄えてきました。その大差市駅の構内に入ると、唐三彩をモチーフとした伝馬がシルクロードを駆け抜ける様子が目に入り、ラクダを率いたペルシャ商人が通り過ぎる際の鈴の音が聞こえてきそうな感じがします。小雁塔の跡地である南稍門駅では、構内の柱はすべて小雁塔風の立体的な形を取り、提灯姿のライトも常時点灯されています。本物の小雁塔を訪れる前から、「雁塔の朝の鐘」をイメージすること

ができるかもしれません。北ターミナル駅の壁画には、現在の陕西省の姿が描かれています。「踊る陕西」と題する作品には陕西省北部の安塞腰鼓の魅力を、「美しい西安」という作品には山々を背景に、自然美溢れた陕西省の様子がそれぞれ紹介しています。このように、色とりどりでテーマ性のある駅構内の壁画は、飾り物と情報発信ツールという機能を併せ持ち、古都西安の文化の深さを余すところなく見せてくれています。

西安地铁，作为城市的“筋骨”，串联起城市四通八达的交通网，让每个步履匆匆的人在进入西安地铁的那一刻，就如同翻开了一本历史书。历史与现代交汇在这一方小小车站中，见证着悠久的古都历史与焕发生机的未来。

町の大動脈である西安メトロは市内の交通を縦横無尽に結び、利用者一人一人にとって、動く歴史教科書のような存在となっています。歴史と現代が融合した各駅から、古都の長い歴史と活気ある未来を見つけられるのではないでしょうか。❶

唐の大明宮：中 国宮殿建築の最 高傑作

中
国
宮
殿
建
築
之
最
高
傑
作

作者：张琳 張琳
翻译：马场节子 馬場節子

毋庸置疑，唐朝是中国历史上一段空前绝后的盛世。大多数中国人都曾梦回大唐盛世，那么唐朝到底有什么魔力让人崇敬，让人向往呢？

唐朝が中国の歴史上、空前絶後の繁栄を誇った時代であったことは疑うべくもない。多くの中国人が大唐盛世に戻る夢を見たことがある。では、唐朝はいったいどのような魔力で人を崇敬させ、憧れを抱かせるのだろうか。

从版图上来看，唐朝是版图庞大且未修建长城的大一统中原王朝；从地位上来看，唐朝天子被四夷各族尊为“天可汗”，凭借强大的文化向心力让四方藩属国学习唐朝的文化与制度；从社会心态上来看，相比于那些坚持“非我族类，其心必异”、将异族人视为蛮夷禽兽的狭隘思想，唐朝人的心态无疑更包容，也更健康。而这一切，源自于强大的综合国力。无论是在政治上、军事上、经济上，还是文化思想上，唐朝都处于中上，甚至顶尖水平。这就是唐朝令人向往的魅力吧。

版図の面から見ると、唐朝は領土が広大で、長城を建設することなく中原の大一統を成し遂げた王朝であった。地位の面から見ると、唐朝の天子は周辺の異民族から「天可汗」、すなわち可汗（古代における遊牧民族の首領の称号）の上に立つ君主とあがめられ、強大な文化的求心力によって四方の属国に唐朝の文化や制度を学ばせた。社会的な心理状態の面から見ると、

「わが同族にあらざれば、その心必ず異ならん」という意識に固執し異民族の人々を野蛮で鳥獣にも似たものとみなす偏狭な考え方に比して、唐朝の人々の心は疑いなく、より包容力があり、より健全でもあった。そして、これらのすべてが、総合的な国力の強さに源を発していた。政治、軍事、経済、文化思想のどの面においても、唐朝は中の上、いやそれどころか最高のレベルにあった。これがすなわち、唐朝が人に憧れを抱かせる魅力なのだろう。

如果有人问哪里最能代表大唐的气度与鼎盛？那么大明宫一定可以。大明宫是这个王朝经济成就的最佳代表，也是皇权的象征。作为当时的政治中心和国家象征，亦是大唐帝国的大朝正宫，大明宫在唐长安城屹立了222年，见证了华夏之巅17位帝王的人生。

大唐の風格と繁栄を代表するのはどこかと尋ねられたら、大明宮を挙げれば間違いない。大明宮はこの王朝の経済の業績を最も見事に代表するものであり、皇帝の権力の象徴でもある。当時の政治の中心、国の象徴として、また大唐帝国の正宮殿でもある大明宮は、唐の長安城に222年間そびえ立ち、中国が最も栄えた時期の17人の帝王の人生を目撃した。

大明宮始建于唐太宗贞观八年（634年），位于今西安北侧龙首原，和汉代未央宫一样得名于《诗经》，都是取义于周王的勤政贤明，并将其作为榜样而进行自我鞭策。大明宮宮城以主要宮殿建筑为轴线，呈中心对称布局。在高台建筑的基础



供图：摄图网

大明宮始建于唐太宗贞观八年（634年），位于今西安北侧龙首原，和汉代未央宫一样得名于《诗经》，都是取义于周王的勤政贤明，并将其作为榜样而进行自我鞭策。大明宮宮城以主要宮殿建筑为轴线，呈中心对称布局。在高台建筑的基础

置されている。高台式建築を基礎とし、軸を中心とする左右対称の配置および大殿前の広々とした空間によって、万民が強い畏怖の念を覚えるようにしたのである。その敷地面積は約3.4平方キロメートルで、紫禁城の4倍に達し、中国の古代宮城建築の手本であるばかりか、いにしへの中国の社会と経済がいかに繁栄し、富んでいたかを実物として証明するものでもあった。

在最鼎盛的开元盛世期间，与大唐交流往来的国家足有200多个。日本遣唐使到达长安15次；阿拉伯帝国曾36次派出使节；东罗马的使节先后7次到达长安；波斯、



供图：摄图网

上，借助轴对称布局以及大殿前广阔的空间，对万民形成强大的威慑力。它占地面积约3.4平方千米，是紫禁城的四倍大，不仅是中国古代宫城建设中的范例，也是中国古代社会经济繁荣富强的实物证据。

大明宮は唐の太宗の貞観8年(634年)に建設が始まり、現在の西安の北側にあたる龍首原に位置していた。漢代の未央宮と同じく『詩経』からその名がとられている。どちらも、政務に尽力した賢明な周王にならない、これを模範として己をむち打とうとしたのである。大明宮の宮城は主要な宮殿建築を軸として左右対称に配

大食商人纷至沓来，不同肤色、不同语言的商人在这里汇聚，进行贸易往来。这真可谓：名花牡丹，美酒香茶以待来客；霓裳羽衣舞，剑器动四方以示繁盛；骆驼商团，踏大漠丝绸之路以接世界。“九天阊阖开宫殿，万国衣冠拜冕旒”这句诗最能代表大唐盛世之景象。它描写的就是大明宮的主殿——含元殿大朝会的盛况：早朝时，百官们在曙色中走进辉煌的宫殿，与万国使节共同向加冕悬旒的唐帝王叩头请安。《全唐诗》四万多首，涉及大明宮的就有260多首，这足以说明大明宮不仅是长安强盛与繁华的象征，更是大唐展现给世界的自信和包

容。彼时的长安，是真正意义上的国际大都会，而大明宫当之无愧是这个国际大都会最荣耀的中心。

隆盛を極めた開元の盛世の間に、大唐と交流し往來した国は、200余りに達した。日本の遣唐使は長安に15回赴き、サラセン帝国は36回使節を派遣した。東ローマの使節は前後7回長安に赴いた。ペルシャやアラビアの商人も次から次へと訪れ、さまざまな肌の色や言葉話す商人がこの地に集い、貿易を行った。これぞまさに「名花牡丹、美酒香茶来客をもてなす。霓裳羽衣の舞い、剣器四方を動かし繁盛を示す。駱駝の商団、大漠絲綢之路を踏み、以て世界と接す」という様相であった。「九天の闔闔宮殿を開き、万国の衣冠冕旒を拝す」という詩は大唐盛世の姿を最も見事に表している。ここに描かれているのがまさしく大明宮の主殿である含元殿における大朝会（年の初めに行われる宮廷の式典）の盛況である。儀式の際には、多くの文官や武官が夜明けの光の中を輝かしい宮殿の中へと歩み入り、万国の使節とともに、串玉が垂れ下がる冠をつけた唐の皇帝の前にひざまずき頭を深々と下げてあいさつする。『全唐詩』4万首余りのうち、大明宮に言及したものが260首以上ある。このことは大明宮が長安の隆盛と繁榮の象徴であるだけでなく、大唐が世界に示した自信と包容でもあったことを物語るに足るものである。当時の長安は、真の意味で国際的な大都市であった。そして大明宮はこの国際的大都市の最も栄えある中心の名に恥じない場所であった。

大明宮の南門は丹鳳門、也是大明宮的正門。一般的城門只有三个門道，而丹鳳門有五个門道，其长度、质量、规格为隋唐城門之最。丹鳳門很可能是中国历史上规模最大的門，千般尊嚴、万般气象的皇家气派淋漓尽致地体现在这規制之高、規模之大的形制上。“丹鳳”的意思是红色的鳳凰，中国古代典籍中说，天下安寧太平，鳳凰就会降世，因此这名称也被寄予了統治者对太平盛世的期望。丹鳳門以北依次是由含元殿、宣政殿、紫宸殿、蓬萊殿、含涼殿、玄武殿等组成的南北中軸线，宮内的其他建筑也大都沿着这条軸线分布。

大明宮の南門は丹鳳門で、ここが大明宮の正門でもある。一般的な城門には通路が3つしかないが、丹鳳門には5つの通路があり、その長さ、質、規格は隋唐の



城門の中で最高のものである。丹鳳門はおそらく中国の歴史上、規模が最も大きな門で、すべてにおいて尊厳と気概を重んじる皇室の風格が、この規格の高さ、規模の大きさを誇示した構造に余すところなく体现されている。「丹鳳」は赤い鳳凰という意味で、中国の古代の書物に記されているところによると、天下が安寧であれば、鳳凰がこの世に舞い降りるのだという。したがってこの丹鳳門という名は、平和で繁栄する世を築くことへの統治者の期待が込められたものでもある。丹鳳門から北へ順に含元殿、宣政殿、紫宸殿、蓬莱殿、含涼殿、玄武殿などから成る南北中軸線が構成されており、宮殿内のその他の建物も、ほとんどがこの軸線に沿って配置されている。

穿过丹凤门，正对着的就是含元殿。含元殿高耸入云，气势磅礴，是中国历史上最宏伟的宫殿，其殿堂坐于三重高台上，台基高15米，东西长77米，南北宽43米。为了方便官员上朝，殿前东西两侧还分别修建了两条平行的坡道，从丹凤门北望，犹如龙垂尾，故被称为“龙尾道”。这一建筑组群构成了唐代大明宫内规模宏伟、礼制庄严的外朝听政区域。唐代诗人李华曾这样描述含元



殿：“进而仰之，鸾龙首而张凤翼；退而瞻之，岌树颠而岬云末。仰观玉座，若在霄汉；倚栏下视，南山如在掌中。”

丹鳳門を通り抜けると、正面に向かい合っているのが含元殿である。含元殿は雲を突かんばかりにそびえ立ち、氣勢雄大で、中国の歴史上最も壮大な宮殿である。その殿堂は三重の高台の上に座し、基壇は高さ15メートル、東西の長さ77メートル、南北の幅43メートルである。役人が参内するときのために、殿前には東西両側にそれぞれ2つの平行する坂道が設けられており、丹鳳門から北を望むと、龍がその尻尾を垂れているように見えるところから、「龍尾道」と呼ばれた。これらの一群の建物は、唐の大明宮の中でも規模が壮大で、礼儀の制度が厳粛な皇帝の執政場所であった。唐代の詩人・李華は含元殿をこのように描いている。「進み入りて之を仰げば、龍首が高く飛翔し、鳳が翼を広げる。退いて之を仰ぎ見れば、樹の頂が高くそびえ、雲の未除し。玉座を仰ぎ見れば、大空に在るがごとし。欄干にもたれて下を見れば、南山は掌中に在るがごとし」。

大明宮は唐朝時期最輝煌壮麗の宮殿群、也是当时世界上面积最大的宮殿建築群，号称“万宮之宮”“東方聖殿”，被称为“中国宮殿建築的巔峰之作”。日本人仿照大明宮的风格，修建了自己的皇宮——平城宮，就连平城宮的正殿——大極殿也是大明宮含元殿的微縮版本。可惜，这座华丽輝煌的宮殿，最终还是毀于唐僖宗光启年間（886年）的战火。

大明宮は唐朝の時代の最も輝かしく壮麗な宮殿群であり、当時の世界で面積の最も大きな宮殿建築群でもあったから、「万宮の宮」「東方の聖殿」と称され、中国の宮殿建築の最高傑作とたたえられた。日本人は大明宮の様式になって、自らの皇宮である平城宮を建てた。平城宮の正殿である大極殿も、大明宮の正殿・含元殿のミニチュア版である。惜しむらくは、この華麗に輝く宮殿が、唐の僖宗の光啓年間(886年)の戦火によって灰じんに帰ってしまったことである。

如今我们虽然难以触摸到那段历史，无法置身于那座恢弘的宮殿中，但是步入大明宮的遺址区，仍能依稀感受到来自1300多年前的震撼。当丹凤門广场的地下交通樞紐开放使用后，走出西安火車站，跟随扶梯缓缓升至地面，气势宏伟的丹凤門便映入眼帘，这是乘客们到达西安后能够观赏到的

第一幕街景。丹凤門冲击着所有人的眼球，也向世人展示着大唐帝国曾经的恢弘气度。

今、私たちがあのころの歴史にじかに触れるのは難しく、あの壮大な宮殿に身を置くことはかなわないが、大明宮の遺跡の区域に足を踏み入ると、1300年余りに当時の人々が受けた衝撃を今もなおおすか感じ取ることができる。丹鳳門広場の地下の交通ターミナルが使用されるようになってからは、西安駅を出て、エスカレーターでゆっくり上って地上に出ると、気宇壮大な丹鳳門が目に入る。これが乗客が西安に着いてから最初に楽しむことのできる眺めである。丹鳳門はすべての人に目を見張らせ、大唐帝国のかつての威風堂々たる度量を世の人に示している。

如今的大明宮遺址規模宏大，是一处保存最为完整的皇家宮殿遺址。2010年10月，大明宮國家遺址公園盛大開幕，并于2014年、2020年分別被列入世界文化遺產名錄和國家5A級景區。傍晚，周围的居民漫步在遺址公園的步道上，远处宮門的灯光亮起，此时的画面亦古亦今，宜醉宜賞，“今朝風日好，宜入未央游”。

現在の大明宮遺跡は規模が壮大で、最も完全な形で保存されている皇室宮殿の遺跡である。2010年10月、大明宮國家遺跡公園が盛大にオープンした。さらに2014年と2020年にはそれぞれ世界文化遺産、國家5A級景勝地として登録された。夕方には、周辺の住民が遺跡公園の歩道をそぞろ歩き、遠くの宮門の明かりがともる。昔と今が交じり合い、うっとりとするようなこの情景は、「今朝風日好し、宜しく未央に入りて遊ぶべし」の感慨を起こさせる。

无论是千年前大唐盛世的恢弘壮丽，还是如今可堪入画的园林美景，大明宮都是滲入中国人骨髓的一座丰碑，一个值得我们细细品味和感受的好去处。它留给我们的，何止是千載难忘，更是万世不朽的亘古绝唱。

千年前的大唐の盛世の壮大で華麗な姿にせよ、現在の絵になるような庭園の美景にせよ、いずれにしても大明宮は中国人の骨髓に染み込んだ不朽の石碑であり、私たちがつぶさに味わい、感じるに足る場所である。この地が私たちに残したものは、千年の長きにわたって忘れ難いということとどまらず、とこしえに朽ちることのない万古の絶唱なのである。❶





何尊里的 “中国”

何尊が語る「中国」



供图：陈亮 陳亮

作者：陈亮 陳亮

翻译：桥本和子 橋本和子

商周青铜器是中国古代文明的重要标志，其庄严肃穆的器形、犷厉乖张的纹饰以及飞扬律动的铭文已成为艺术史上屡屡被后人追摹却无法逾越的典范。宝鸡是周秦文明的发祥地，也是著名的“青铜器之乡”。

商周の青銅器は中国古代文明の重要なシンボルである。その荘厳で厳粛な形状、荒々しく野性的な装飾文様及び舞い踊るように躍動的な銘文は、芸術史上幾度となく後世の人々に模写されながらも、超越のしようのないすばらしい手本となっている。宝鶏は周秦文明の発祥の地であり、有名な「青銅器の故郷」でもある。

1963年，宝鸡市东北郊贾村出土的何尊以其独有的价值受到世人的特别关注。何尊是西周早期成王时的铜器，其内底铸铭文12行122字，记载了成王在其亲政五年时，在成周对其下属“宗小子”（宗族中的晚辈）的训诰。现收藏于宝鸡青铜器博物院。

1963年、宝鶏市の東北郊外の賈村で出土した何尊は、そのユニークな価値により世間の人々からとりわけ注目を浴びた。何尊とは西周王朝初期、成王の時代の銅器である。銅器の内側底部には12行122字の銘文が刻まれ、成王が統治5年目の時、成周においてその配下である「宗小子」（宗族の中の若輩者）に対して行った訓話が記されている。現在は宝鶏青銅器博物院に収蔵されている。

尊是敞口、高颈、圈足的大型盛酒器。由于酒在祭祀活动中的重要作用，盛酒的青铜尊便成为先秦社会礼仪的象征，“尊彝”为商周青铜礼器的通称。何尊中的“何”是西周早期奴隶主贵族宗小子的名。作为一个宗小子，受到周王的接见训诰，无疑是件十分荣耀的事。为了让后代铭记祖先的殊荣，保持其世家的尊荣地位和特权，何便将此事铸在了青铜尊上。

尊は、口がラップ状に開き、高頸で、圈足のついた大型の盛酒器である。酒は祭祀をとり行う際に重要な役目を担っているため、酒を盛る青銅尊は秦以前の時代の社会儀礼の象徴となっていた。「尊彝（そんい）」は商周の青銅礼器の通称である。何尊の「何」とは西周時代初期の奴隸主である貴族の宗小子の名前である。1人の「宗小子」として、周王に謁見し訓話を賜うことは、言うまでもなく極めて榮譽なでき事である。祖先のこの特別な榮譽を後世の人びとの心にしっかりと刻みつけ、名門の高貴な地位や特権を維持するために、何はこの出来事を青銅尊に鑄込んだのである。

铭文大意是：成王五年四月，周王开始在成周营建都城，对武王进行丰福之祭。周王于丙戌日在京宫大室中对宗小子何进行训诰，内容讲到何的先父公氏追随文王，文王受上天大命统治天下。武王灭商后则告祭于天，以此地作为天下的中心，统治民众。周王赏赐何贝30朋，何因此作尊，以作纪念。

銘文の大意は以下のとおり。成王5年4月、周の王は成周に都の造営を開始し、武王に豊福の祭祀を行った。周の王は丙戌の日に京宮の大室において宗

族の若輩者である何に訓話を行った。そこで語られた内容は次のようなものである。何の亡き父である公氏は文王に付き従い、文王は天の大命を受けて天下を統一した。武王は商を滅ぼした後、天を祭ってそのことを告げ、この地（成周）を天下の中心として、民衆を統治することとした。周の王は恩賞として何に30朋（貝貨の計算単位、1朋は10枚）の貝貨を下賜した。そこで何はこの尊を作製し、記念とした。

何尊銘文受到学界关注主要基于四个方面：一是见证武王第一次从国家层面提出具有战略意义的城市规划，要在天下的中心尹洛一带营建洛邑。这与《史记·周本纪》等历史文献记载完全吻合，起到了证史、补史的作用。二是“中国”作为词组第一次出现在青铜器铭文中。在何尊铭文之前，“中”和“国”都只作为单个的字出现在甲骨文或金文中，这里的“中国”指的是中心、中央，是地域概念，表示国之中央的意思。三是从金文资料的角度第一次解读周人的“德治”思想。“德治”思想是西周初年的周公姬旦提出的。在他看来，“皇天无亲，惟德是辅”，即昊天上帝对谁都不偏私，只辅佑“敬德”之人。“以德配天”是周人立国的基本思想。四是从书法艺术的角度表明，周人取代殷商之初，还来不及营造代表自己审美趣尚的书法样式。铭文通篇竖成行而横不成排，字形大小不一。书写气势豪放，笔划浑厚凝重，有的笔划中间粗肥，而首尾出尖，笔捺皆有波折，明显继承了商晚期金文的特点。

何尊の銘文が学界から注目を浴びている理由は、主に以下の4つの面からである。第一に、武王が初めて国家というレベルで、天下の中心である尹洛一帯に洛邑を営造しようという戦略的意義をもった都市計画を打ち出したことを証言しているからだ。これは『史記・周本紀』などの歴史文献の記載と完全に一致し、歴史を証明し、歴史を補うとい

う役割を果たしている。第二に、「中国」という言葉がフレーズとして初めて青銅器の銘文の中に出現したからだ。何尊の銘文以前には、「中」と「国」は1つ1つの文字として甲骨文あるいは金文（古代の青銅器に刻まれた銘文）の中に出てきたただけだった。ここで言う「中国」は、中心、中央を指し、地域的な概念であり、国の中央を意味している。第三に、金文資料の視点から初めて周の人びとの「徳治」思想を読み解いているからだ。「徳治」思想は西周初年に周公姫旦が打ち出したものである。彼にとっては、「皇天無親、唯德是輔（皇天親なく、唯徳をこれ輔く）」、即ち、天の神様は何人に対しても私情をはさまず、ただ「徳を敬う」人のみを加護するのだという。「徳を以てて天を配す」は周の人びとの立国の基本思想である。第四に、書道芸術の視点から、殷商に取って代わった初期には、周の人びとはまだ自分たちが志向する美意識を代表する書道様式を作り出していなかったことをはっきり示しているからだ。銘文は全編にわたり縦方向はきちんと列をなしているが横方向の並びはばらばらで、字形の大きさが不揃いである。筆致は勢いにあふれ豪放で、点画は力強く威厳がある。なかには線の中央は太いののに、始筆と終筆は鋭く尖っているものもあり、また漢字の右払いはいずれも途中で折れている。明らかに商末期の金文の特徴を継承している。

华夏民族在形成的初期，由于受天文地理知识的限制，总是把自己的居域视为“天下之中”，即“中国”，而称他族的居域为东、南、西、北四方。上古中国，有“九州”的概念。《尚书·禹贡》记载了传说中的大禹治水。当时，大禹将天下分为九州：冀、兖、青、徐、扬、荆、豫、梁、雍，呈现出“九宫格”式的图形结构，而洛邑所在的豫州，处于九州（九宫格）之“中”。《吕氏春秋·慎势》有“古之王者，择天下之中而立国”的记载。

华夏民族が形成された初期には、天文地理知識の制約により、常に自分たちが居住する区域を「天下の中心」、即ち「中国」と見なし、他の民族が居住する区域を東、南、西、北の四方だと呼んでいた。上古の中国には、「九州」という



供图：陈亮 陳亮

概念が存在した。『尚書・禹貢』には伝説の大禹治水が記載されている。当時、大禹は天下を冀州・兗州・青州・徐州・揚州・荊州・豫州・梁州・雍州という9つの州に分け、「九宮格（3×3のマス目）」式の図形構造を示して、洛邑がある豫州を九州（九宮格）の「中心」に置いた。『呂氏春秋・慎勢』には「古の王者、天下の中を扱ひ国を立つ」と記されている。

公元前21世纪，第一个朝代夏朝建立，这标志着中国统一国家政权形式的诞生。应当说，这时“中国”的概念便有了确切的政治涵义。据《左传·哀公七年》载：“禹合诸侯于涂山，执玉帛者万国”，夏禹被视为“天下共主”，其统辖的区域被称为“夏”。何以“夏”相称？《尔雅·释诂》曰：“夏，大也。”《尚书》注云：“冕服采章曰华，大国曰夏。”“华夏，谓中国也。”

紀元前21世紀に、初めての王朝である夏王朝が樹立されたが、これは中国で統一国家政権という形態が誕生したことを示している。この時から「中国」という概念に確かな政治的ニュアンスが含まれるようになったと言うべきであろう。

「禹諸侯を塗山に合す、玉帛（ぎょくはく）を執りたる者万国なり」という『左伝・哀公七年』の記載によれば、夏禹は「天下の宗主」と位置づけられ、その統轄地域が「夏」と称された。何を以って「夏」と称したのだろうか。『爾雅・釈詁』曰く、「夏、大なり」。『尚書正義』（『尚書』の注を基に書かれた本）曰く、「冕服（べんぶく・儀礼用の冠と衣

服）採章（華やかな装飾）曰く華、大国曰く夏。」「華夏、すなわち中国と謂うなり。」

商原是夏朝统治下的一个诸侯国，后取代夏朝成为“天下共主”。商朝之时，被称为“邑”的城垣有了很大的发展，“邑”形成了不同血缘氏族部落成员杂居的古代都市。此时已出现“中商”“大商邑”的称谓，而周围各族则被称为“方”。最迟从周初开始，以黄河流域为中心的华夏地区开始被称为“中国”。

商は元々夏王朝統治下の1つの諸侯国であり、後に夏王朝に代わって「天下の宗主」となった。商王朝の時代には、「邑」と呼ばれる城壁が大いに発展し、「邑」はさまざまな血縁氏族の部落に属する人々が雑居する古代都市を形成した。このときすでに「中商」「大商邑」という呼称が出現し、周辺の各民族は「方」と呼ばれていた。最も遅くても周王朝初期から、黄河流域を中心とする華夏地区が「中国」と呼ばれるようになった。

“中”为指事字，甲骨文、金文字形，象旗杆上下有飘带的旌旗。“中”本义中心、当中，指一定范围内适中的位置。据《新书·属远》载：“古者天子地方千里，中之而为都。”“或”是“国”的本字。周金文早期作“或”，从字面讲，它由城池和干戈构成，表示“执干戈以卫社稷”，当时人们已经意识到，一个国家，不仅要有属于自己的城池，而且要



有军队，来时刻保护自己的疆土和臣民，这才称得上“国”。后来在此基础上“或”又外加“口”以为国界，属于文字上的自然演变。

「中」は、形として表現しにくい物を点や線を使って表した指事文字で、甲骨文字や金文の字形を見ると、ポールの上下に吹き流しがついている旗のようである。

「中」の原義は中心、真ん中であり、一定の範囲内において程よい位置にあることを指している。『新書・属遠』には「古は、天子の地、方千里、之に中して都と為す」と記載されている。「或」は「国」のもととなった漢字（本字）である。周の金文では早期に「或」という字ができたが、字面から言えば、城池（城壁と堀）と干戈（武器）で構成されており、「干戈を執って以って社稷（国家）を衛る」ということを示している。当時の人びとは、国というものは、自分の城池を持つだけでなく軍隊も必要である、それによって常に自国の領土と臣民を守る、そうしてはじめて「国」と言えるのだということにすでに認識が及んでいたのである。これをベースとして、後になって「或」には、外側に国境線を示す「口」が加えられたが、これは文字における自然の変遷である。

周朝大量使用的“中国”称谓，至少具有四种含义：一是地理意义上的所谓“中原”地区。二是政治意义上的所谓“天子之国”。此义源于夏朝的“夏”和商朝的“中商”“中土”，相对于东、南、西、北各族的称谓。这时的“中国”与“四方（夷）”、“京师”与“四国”对举，表示中心与四邻、天子与诸侯的相互关系。三是民族意义上的“华夏”民族。至周朝，夏、商、周三族逐渐融合为一个民族整体，即“诸夏”或“华夏”。四是文化意义上的“华夏文明”。

周王朝に多用された「中国」という呼称には、少なくとも4つの意味がある。第一に、地理的意義におけるいわゆる「中原」地域という意味である。二番目は、政治的意義におけるいわゆる「天子の国」という意味である。このルーツは、夏王朝の「夏」と商王朝の「中商」「中土」であり、東、南、西、北の各族の呼称に相対している。この時代の「中国」と「四方（夷）」、「京師（みやこ）」と「四国」は対比する概念として挙げられ、中心と周辺、天子と諸侯という相互関係を示している。第三は、民族的意義における「華夏」民族という意味である。周王朝になると、夏、商、周の3つの民族は徐々に融合して1つの民族の総体、即ち、「諸夏」あるいは「華夏」になった。第四は、文化的意義における「華夏文明」という意味である。

随着历史的发展，“中国”一词的内涵逐步跨出中原，继而指代华夏民族整个居住地 and 所建立的国家。

歴史の発展に伴い、「中国」という言葉に含まれる意味も次第に中原から足を踏み出し、やがては、華夏民族が住むすべての地域と樹立した国家のことを指すようになった。 ㊦

作者简介：

陈亮，男，宝鸡青铜器博物院院长，中国博物馆协会常务理事、西北大学兼职导师。

作者紹介：

陳亮、男、寶鷄青銅器博物院院長、中國博物館協會常務理事、西北大學兼任指導教員。

供图：摄图网

《国际中文教育用 中国文化和国情教学 参考框架》评介

『国際中国語教育用中国 文化及び国情教育参 考骨組み』の解説

作者：吴勇毅 吳勇毅
翻译：谢秦 謝秦

此次颁布的《国际中文教育用中国文化和国情教学参考框架》（以下简称《参考框架》）分为小学卷、中学卷、大学及成人卷三个层级。层级划分主要依据学习者的认知水平和教学方式，而不是根据文化内容的难易程度和中文水平等级。这是一个非常明智的处理方法，也是《参考框架》得以形成的关键之一。教师在使用《参考框架》时，首先就要转变观念，语言习得和文化学习的方式和规律都是不同的。

この度発表された『国際中国語教育用中国文化和国情教育参考骨組み』（以下は『参考骨組み』と略す）は、小学の巻、中学の巻、大学及び社会人の巻など三巻からなっている。それぞれの巻は学習者の認知度や教育方式によって内容分類を行ったのであって、文化内容の難易度や中国語能力によるものではない。これは非常に客観的な分類であり、『参考骨組み』が成り立つ鍵でもある。教師は『参考骨組み』を利用する際に、まず観念を変え、言語の習得と文化の学習は方法も規則も異なることをしっかりと認識する必要がある。

在 一个多种语言、多元文化的地球村里，文化的分享是双向乃至多向的。例如，绝大多数中国人的第一外语是英语，在学习的过程中，我们不仅掌握了英语，也分享学习了各个英语国家、社区的文化。反之，在把中国文化分享给其他母语的中文学习者时，从教学的角度说，《参考框架》提出了四个目标维度，一是“文化知识”，要帮助学习者了解中国传统文化、当代中国、社会与生活的概况和主要特点；二是“文化理解”，要帮助学习者理解中国文化的多样性和动态性，理解传统文化与当代社会生活的联系，理解文化产物、制度、行为所体现的中国文化内涵和观念；三是“跨文化意识”，可以促使学习者在学习与体验中国文化和真实社会的过程中自觉进行对比，从而理解中国文化与学习者本国文化的异同，培养对中外文化异同的敏感性；四是“文化态度”，提倡遵循“世界多元文化平等共享”的理念，以尊重、宽容、共情的态度看待和评价中国文化的特点和文化间的差异，超越刻板印象和文化偏见。这是总纲，不同的教学对象（小学、中学、大学及成人）、不同的教学阶段亦有不同的侧重。我们认为，文化虽然没有难易程度的等级之分，但随着个体的成长和认知的发展，文化和社会场景就具有拓展性和延伸性。从这个角度看，对于小学、中学和大学及成人来说，《参考框架》体现了文化教学由浅入深、由具体到抽象、由零散到系统循环往复、螺旋上升的特点。通过教学和多元文化之间的对比，学习者不仅可以体悟目的语文化，也可以加深对自己母文化的认识，并且以世界的眼光看待他人与自己，包容不同的价值观与文化差异。

多 言語、多元化文化を有する地球村において、文化の享受は一方通行的なものでなく、多方向的なものである。例えば、中国学生の殆どは最初に覚えた外国語が英語である。その学習内容は、言語そのものだけでなく、英語圏の国や地域の文化も含まれる。したがって、中国文化をよりよく中国語学習者に伝えるために、『参考骨組み』は四つの指導方針を示した。第一は「文化知识」である。中国伝統文化、現代中国の社会概況とその主な特徴を中国語学習者に理解させる。第二は「文化理解」である。中国文化の多様性や動態性、伝統文化と現代社会の関連性、文化産物や制度及び行動に反映される中国文化の内包と観念などを中国語学習

者に理解させる。第三は「異文化交流意識」である。中国文化の学習と現代中国社会の生活体験を通して、中国語学習者に自国文化との比較を行いながら、中国文化と自国文化の異同を認識し、異文化の特性を理解する力を養成させるように指導する。第四は「文化姿勢」である。「世界多元化文化平等享有」という理念のもと、尊重、寛容、共感という姿勢のもと、中国文化の特徴と異文化の異同などを認識させ、固定観念や文化的偏見に拘られることのないように指導する。以上の四つの要点は骨組みであり、教育対象（小学生、中学生、大学生及び社会人）によって教育実施法に重点が異なる。上述の通り、文化に難易度によって等級をつけることはできないが、学習者個体の成長や認知の発展に従い、文化や社会性は大きな延伸空間が広がる。この角度から見ると、小学生、中学生、大学生及び社会人のどれにとっても、当該『参考骨組み』は、文化教育が難易レベル、具体性と抽象性、個別性と系統性を総合的に持ち合わせている特徴を持つことを示した。中国語教育、多元化文化の比較を通して、中国語学習者に外国文化を体験させることによって、母国文化に対する認識を深めさせることができるほか、グローバルの姿勢で他人と自己を見極め、価値観と文化の差異を認める包容力を持たせることもできる。

《参考框架》实际上是一个由三级“内容”搭建起来的结构，上层（一级项目）包括“社会生活”“传统文化”和“当代中国”三个方面，以此为骨架统领31个二级文化项目；每个二级项目则由三级的文化点举例展开，提纲挈领，像一把“伞盖”。整体上把握框架结构并不难，关键在于，既然是一个“参考框架”，那它就不具备“穷尽性”（这跟“词汇等级大纲”和“语法等级大纲”很不相同）。因此，在使用《参考框架》时，要特别注意另外两个原则，即“选择性”和“拓展性”（注意：这里指的是“使用原则”，而不是“编写原则”）。

『参考骨組み』は三段階の内容からなっていると考える。上層部（一級項目）には、「社会生活」「伝統文化」「当代中国」との三つの分野があり、それを主題に更に31の二級文化項目を持つ。それぞれの二級文化項目のもとに、更に三級文化ポイントが収められる。このように傘の形になり、綱要のもとにそれぞれの力

を發揮する。無論、これはあくまでも参考綱要であり、個別性を追求するものではない(この点では「語彙等級綱要」と「文法等級綱要」と大きく異なる)。したがって、『参考骨組み』を利用する際に、二つの原則に特に注意を払うべきである。即ち「選択性」と「延伸性」である(注：ここに言うのは「利用原則」であり、「編纂原則」ではない)。

文化是一种烙印，无处不在，甚至无物不是。名字是文化，衣着是文化，建筑是文化，习俗是文化，思想是文化，山水亦是文化，可谓包罗万象。中国文化好似弱水三千，《参考框架》只不过取其一瓢而已。“选择性”，一方面是说三级的“文化点”并不能“概全”二级文化项目，是选择性的、举例性的；另一方面是说，教师对文化点的教学也可以是有选择的，不必面面俱到，这就给了教师自主教学很大的空间。“拓展性”也可叫作“延展性”，是指在实际教学中，教师可以根据教学对象、其语言水平、教学阶段和教学环境对某个文化点的讲授深浅与体验方式进行适当的拓展或延伸，由教师根据具体的教学目标来灵活把握。《参考框架》不是硬性规定，是引导，是指南，这是“参考”的初衷。

文化は一種の烙印であり、あらゆるところに存在し、あらゆるものを言うことができる。人の名前、衣装、建築は文化である一方、風習、思想、山水風景も文化である。つまり、文化は内容豊富であらゆるものを網羅している。中国文化はまさに弱水三千であり、『参考骨組み』はその水の一滴とも言うべきものである。上述の「選択性」とは、一方で選択的で実例的なもので、三級文化ポイントを指すものであり、二級文化項目の全容を示すものではない。他方では、教師が教育現場において文化ポイント選択の可能性を示すもので、教師に大きな自由性を与えるものである。「延伸性」とは、教育現場において、教師が教育対象の語学力、教育段階と教育環境に基づき、教育目標に従いながら文化ポイント解説の難易度や教学方式などを調整することができるのを意味している。よって、『参考骨組み』は厳格的規則というより指導方針ともいうべきであり、「参考」の初志を貫徹するものである。

对于文化来说，语言有三重性。(1)语言本身就是文化。除了语言文字本身是一种文化象征，烙在词语、语法结构、文字和使用规则与规约(以往所说的“交际文化”)上的文化印记与语言是融为一体的，学习语言的同时，这些文化因素也“伴随着”(有时是隐性的)习得；(2)语言是文化的载体。这里所说的“载体”，不是指上文所说的“烙”在语言上的文化，而是指语言所表达的文化内容(以往所说的“知识文化”)，比如，对古代文物的介绍、对桂林山水的描述、对“魔都”上海的展示等。这些文化内容可以在语言教学时了解(常常以课文内容的形式呈现)，也可以在中国文化或中国概况课学习，亦或是专门开讲座介绍。《参考框架》的主要内容属于这一类；(3)语言是了解文化的途径。学习者可以使用目的语来了解中国文化和中国国情(这是最理想的状态)，也可以使用自己的母语或其他语言了解(“转手”有时不免或者难免失真)。运用语言来了解文化，这是学习语言的目的之一。学习语言不仅仅是为了交际所需(以往我们只强调或过分突出语言是交际工具，有失偏颇)，也是为了认识世界、认识他人(乃至自己)。语言不仅仅是人类最重要的交际工具，也是最重要的思维工具。

文化には言語が三重の性質を持っている。その一、言語自体は文化であること。言語や文字は文化の象徴的な存在であり、言葉、文法、使用規則(いわゆる「文化コミュニケーション」である)に現れる文化的烙印は言語と一体化している。したがって言語習得と同時に、文化的要素も「自然のまま」(時には無意識的に)習得される。その二、言語は文化の媒介であること。ここにいう「媒介」とは、言語に反映される文化のことではなく、言語が表現する文化内容のことである(いわゆる「知識文化」)。例えば、古代文物の紹介、桂林山水の描写、「魔都」上海のピーアールなどがこの種のものである。これらの文化内容は語学勉強の際に理解していくものであるほか(常にテキストの形で示される)、「中国文化」「中国概況」などの授業或いは文化講座を通して習得していく。『参考骨組み』の主な内容はこの類に入る。その三、言語は文化理解のルートであること。学習者は中国語を通して中国文化や中国国情を(最も理想的な形で)理解していくことができるほか、母国語や他言語を通して理解していく(この場合理解が正確なものとは限らない)。このように、言語を通

して文化を理解することは言語習得の目的の一つである。また、言語習得はコミュニケーションのため(今まで言語はコミュニケーションの道具であることを過度に強調してきた嫌いがあった)だけでなく、この世界を、人乃至自分を理解していくためでもある。したがって、言語は人類にとって重要な交流道具であると同時に、最も重要な思惟道具でもある。

如何使用《参考框架》进行语言和文化教学，吴中伟建议中国文化教学和中文教学结合，他认为大致可以有三种途径，即(1)以中国文化教学为核心目标，兼顾中文教学，如各类中国文化课程及各类文化活动；(2)以培养中文综合运用能力为核心目标，兼顾中国文化教学，如各类中文技能课；(3)中文教学与中国文化教学两个目标并重，如一些基于“语言与内容相融合”教学理念的课程。这三种途径跟上述的语言对于文化的三重性密切相关，文化的形态不同，教学的路子也可以有所变化和侧重。



作者简介:

吴勇毅，华东师范大学国际汉语文化学院教授、博士生导师，应用语言研究所所长。研究方向主要为语言学及应用语言学、国际汉语教育等。

作者紹介:

吳勇毅、華東師範大學國際漢語文化學院教授、博士課程指導教官、應用言語研究所長。研究方向は言語学及び応用言語学、国際漢語教育など。

『参考骨組み』に基づいて言語と文化教育を行う際にどうすればよいかについて、吳中偉は中国文化教育と中国語教育の結合という観点から以下三つの提言をした。その一、中国文化教育を核心目標として中国語教育を展開すること。例えば、中国文化カリキュラムや各種の文化活動が挙げられる。その二、中国語総合運用力を核心目標として中国文化教育を展開すること。例えば、各種の中国語技能授業が挙げられる。その三、中国語教育と中国文化教育を両立させること。例えば、「言語と内容の融合」を教育理念とするカリキュラムが挙げられる。この三つは上述の通り、言語が文化に与える三重の性質と密接な関わりを持っている。したがって文化形態によって教育法を常に調整と改善すべきである。

如何把握《参考框架》的精髓与关键，并结合不同的教学环境(国内的、国外所在地的)创造性地运用《参考框架》，需要国际中文教师去认真学习与揣摩。如何在具体的课堂教学中，进行中国文化知识的讲解、中国国情的介绍、文化活动的组织(体验与体演)，文化与语言教学如何融合，多媒体多模态手段和方法又如何利用，这些都需要一线教师在教学中探索与创新。《参考框架》是国际中文教育标准体系构建的一个重要组成部分，也是其标志性成果之一，它与《国际中文教育中文水平等级标准》(2021)一起为新时期国际中文教育的发展夯实了基础。

『参考骨組み』の精髓と鍵を把握し、教育環境(国内と国外)の異同を見極めながら創造的に利用するために、国際中国語教育に携わる者が常に認識を高める必要がある。教育現場において、中国文化の知識の伝授、中国国情の紹介、文化活動の企画(体験と出演)などをどのように展開するか、文化と語学教育をどのように融合させるか、マルチメディアなどの手段をどのように利用するか、これらは教師が常に模索をしないといけないものである。『参考骨組み』は国際中国語教育標準体系の構築に重要な部分であり、一里塚の成果の一つである。『国際中国語教育中国語レベル等級基準』(2021)と共に新しい時代の国際中国語教育の発展に堅実な基礎づくりをしたと言える。☞



从日本学习者角度来看 《国际中文教育中文水平等级标准》高等词汇

日本人学習者の立場から 『国際中国語教育中国語レベル等級基準』高等語彙を見る

作者/翻译: 古川裕 古川裕

1 引言

自2021年7月1日起,《国际中文教育中文水平等级标准》(以下简称《标准》)正式实施。我们认为《标准》的发布实施无疑是国际中文教育进一步走向规范化的标志性成果,将为世界各地的中文教学提供重要的参照和依据。我很荣幸能够作为国外咨询专家参与《标准》的鉴定会,也很高兴直接从事《标准》日文版的翻译工作,我也坚信《标准》对日本的中文教学起到一定的指导性作用。

我本人这三十多年来一直在日本从事中文教学,一贯主张汉字文化圈内的中文教学和非汉字文化圈的中文教学应该分别对待,特别是在汉字教学和词汇教学方面,教学内容及方法需要根据学习者是否具备汉字知识而各自分开量身定制。《标准》涉及的范围非常广泛,这里无法展开全方位的讨论。本文就从日本中文学习者的角度来俯瞰一下《标准》所收录的高等水平词汇,跟在世界各地教授中文、学习中文的老师和同学分享一下日本学生学习汉语时的先天优势。

1 はじめに

2021年7月1日に『国際中国語教育中国語レベル等級基準』(以下では『基準』と略称する)が正式に実施されることとなった。『基準』の公布と実施は国際的な中国語教育が規範化に向けて更に一步前進することを明確に示す成果である。私は光栄にも海外アドバイザーとして『基準』の鑑定会議に参加し、また『基準』日本語版*の翻訳にも直接従事することができて、『基準』が今後の日本における中国語教育にも一定の指導的役割を果たすであろうことを確信している。

私自身はこれまで三十数年来、日本において中国語教育に従事し、漢字文化圏における中国語教育と非漢字文化圏における中国語教育は別に分けて考えるべきであると一貫して主張してきた。漢字の教育と語彙の教育においては特にそうで、教育内容と方法は学習者が漢字の知識を有しているか否かによって、それぞれ別個にデザインすべきである。『基準』が扱っている範囲はたいへん広く、ここで全面的な議論はできないので、本文では日本人中国語学習者の角度から『基準』の収める高等レベルの語彙を俯瞰し、世界各地で中国語を教え学ぶ人々に日本人学生が中国語を学ぶ時に持つ先天的なアドバンテージをご紹介します。

2 《标准》词汇表

《国际中文教育中文水平等级标准》由(1)等级描写、(2)音节表、(3)汉字表、(4)词汇表、(5)语法等级大纲等五大部分组成。其中词汇表总共收有11092个词汇,分属于如下三等九级的框架里。

等次	初等			中等			高等	总计
等级	一级	二级	三级	四级	五级	六级	七—九级	11092
词汇	500	772/1272	973/2245	1000/3245	1071/4316	1140/5456	5636/11092	

表格中“/”前后两个数字,前面的数字表示本级新增的语言要素数量,后面的数字表示截止本级累积的词汇数量。表の中で“/”の前後の二つの数字は、前の数字はその級で新たに増える語の数量を示し、後ろの数字はその級までの累積語彙数を表す。

表 1

《标准》词汇表共收11092个词汇。为了进一步了解一万多个词汇量,我们不妨跟以往两个具有代表性的大纲比较一下:

大纲	《汉语水平词汇与汉字等级大纲》(1992) 『中国語レベル語彙と漢字等級ガイドライン』 (1992年)	现行HSK2.0(2009) 現行のHSK2.0版
等级词汇量	甲级词1033、乙级词2018、丙级词2202、丁级词3569 甲級語1033、乙級語2018、丙級語2202、丁級語3569	1級150、2級300、3級600、4級1200、5級2500、6級5000 1級150、2級300、3級600、4級1200、5級2500、6級5000
总量	8822	5000

表 2

通过以上具体数据的比较,我们就可以知道《标准》所收词汇比以前增加了不少,尤其不可忽视的是高等水平词汇的增加量。这无疑会给学习者带来不少负担,但站在日本学习者的角度来看,我们似乎可以说并没有增加那么多的负担,反而还让日本学生具备了一定的优势。为什么可以这样说呢?下一节我们来看一下具体情况。

3 日汉同形词

众所周知,日文是除了中文以外,唯一一个还在使

2 『基準』の語彙表

『国際中国語教育中国語レベル等級基準』は(1)等級基準、(2)音节表、(3)漢字表、(4)語彙表、(5)文法レベルガイドラインの五つの大きなセクションから成る。このうち語彙表には総計11,092の語が以下のような3等9級の枠組みに収められている。

『基準』語彙表は総計11,092の語彙を収めている。語彙数が一万余りということをより深く理解するために、従来の代表的な二つのガイドラインと比較してみよう。

上述の具体的な数字を比べると、『基準』が納める語彙数が以前のガイドラインよりもずっと多くなっていることがわかる。特に高等レベルの語彙数の増加は無視できない。これは間違いなく学習者に多くの負担をもたらすが、日本人学習者の角度から見ると、それほど負担が増えたわけではなく、逆に日本人学生にかなり有利になったとも言えそうである。なぜ、そう言えるのか?次節で具体的な様子を見てみたい。

3 日中同形語

周知のように、日本語は中国語以外で今なお漢字を使っている唯一の言語であり、日本語を書いたり読んだりする時には漢字が無くてはなら



供图：摄图网

用汉字的语言，日文的书写以及阅读都离不开汉字。日文中存在着相当多数量的日汉同形词，日本中文学习者在开始学习中文之前就有丰富的汉字及汉字词的知识，我们都会承认这是日本学生学习中文时得天独厚的优势。

从日汉两种语言对比的角度来说，越是代表抽象概念的词汇，日本学生越容易理解，因为那些高级词汇属于日汉同形词的可能性相对大一些。与此相反，现代汉语词汇系统中那些代表具体事物的名词、表示日常进行的动作行为的动词以及描写常见的性质状态的形容词等词语，日本学生却比较陌生，这些所谓的基本词汇反而属于学习难度较高的词语了。

在这样的前提下，我们对《标准》词汇表进行了一次穷尽性的调查，针对新增七一九级高等部分收录的词语，逐个检点到底有多少日汉同形词。拼音头文字自A至Z从头到尾一一检查的结果如下：

ない。日本語には、かなり多くの日中同形語が存在しているので、日本の中国語学習者は中国語を学び始める前から漢字と漢字語についての知識を豊富に持っている。これこそ日本人学生が中国語を学ぶ時に最も有利で恵まれた条件であることを誰もが認めるだろう。

日本語と中国語を対照する角度から言うと、抽象的な概念を表す語であればあるほど、日本人学生はそれを理解しやすい。なぜならば、そのような高級レベルの抽象的な語彙は日中同形語である可能性が相対的に高いからである。逆に、現代中国語の語彙システムの中で具体的な事物を表わす名詞、日常行う動作行為を表わす動詞や普通に見かける性質や状態を描く形容詞などの語句の方が却って日本人学習者にとっては親近感がなく、このような基本語彙が学習難度の比較的高い語句なのである。

このような前提のもとで、筆者は『標準』の語彙表に網羅的な調査を行ない、新しく増えた7～9級の高等レベルに収録された語彙に対して逐一のチェックを行って、いったいどれほどの日中同形語が含まれているのかを調査した。ピンインの頭文字AからZまでを一つ一つ調査した結果は以下の通りである。

A8、B72、C81、D58、E8、F78、G88、H71、J114、K30、L87、M65、N23、O2、P35、Q60、R40、S166、T88、W69、X92、Y124、Z141。

A-Z 合计为1600个词，其比率为1600/5636 = 28.40%。

此分析结果告诉我们《标准》高等词汇表中约占三成的词汇属于日汉同形词，这无疑就是日本中文学习者的先天优势。我们教日本学生的时候，要好好抓住这个特点，让日本学生充分发挥他们的优势。

因为篇幅有限，我们无法把1600个日汉同形词全部都列出来，这里就列出A-C的161个日汉同形词供读者参考。

A8、B72、C81、D58、E8、F78、G88、H71、J114、K30、L87、M65、N23、O2、P35、Q60、R40、S166、T88、W69、X92、Y124、Z141。

A-Z の総数 1600 語，その割合は 1600 / 5636 = 28.40%。

この分析結果により『基準』の高等レベル語彙表の中で約3割の語が日中同形語であることが分かった。これは間違いなく日本人中国語学習者だけが先天的に持つ有利な条件に他ならない。日本人学生に中国語を教える場合、このような特性をしっかりと把握して、日本人学生にそのアドバンテージを発揮させるべきである。

限られた紙幅の関係で1600の日中同形語をここにすべて列挙することはできないので、下にAからCまでの161の語を挙げて読者の参考に供したい。 ㊦

拼音	数量	词语
A	8	癌、爱惜、安定、安心、安逸、案件、暗杀、傲慢
B	72	八卦、百合、百科全书、拜见、颁布、斑点、半岛、半数、半信半疑、伴侣、伴奏、包容、剥、饱和、饱满、宝库、保管、保修、保障、报酬、报复、豹、暴利、爆竹、悲哀、悲观、悲痛、碑、备用、背面、本分、本能、本性、本意、绷带、比喻、必定、壁画、避难、避暑、变革、变迁、变异、变质、辨别、辩护、辩解、标本、标语、表决、冰山、丙、并列、并行、病床、病症、波及、波澜、波涛、剥夺、伯父、伯母、不定、不适、补给、捕捉、不得已、不服、不景气、不可思议、不平、部署
C	81	财经、财力、财务、财政、裁定、裁决、采集、参谋、参照、残、残留、残忍、惭愧、草案、侧面、差额、茶道、产、产地、产物、常态、常温、嘲笑、车道、车轮、彻夜、陈列、陈述、诚心诚意、诚意、秤、痴呆、迟早、持、尺度、耻辱、赤字、充当、充实、崇高、宠爱、抽象、丑恶、丑闻、出版社、出发点、出境、出身、出土、出血、出演、出资、除去、除外、处方、处置、储蓄、触觉、传奇、传染、传染病、传授、传闻、船舶、喘息、纯粹、纯洁、纯朴、瓷器、辞退、慈善、刺绣、葱、从业、粗暴、粗略、催促、催眠、脆弱、挫折、错觉

表 3

作者·译者简介:

古川 裕 Furukawa Yutaka

大阪大学人文学研究科教授，香港教育大学人文学院中国语言学系荣誉教授，世界汉语教学学会副会长，樱美林大学孔子学院理事。

专业方向为现代汉语认知语法研究、日汉对比语言学。主要著作有《现代汉语认知语法与教学语法研究》(商务印书馆，2021)、《对日汉语语法教学法》(合著，北京语言大学出版社，2013)、《超级Crown中日辞典》(主编，三省堂，2008，日本东京)等。

作者·翻译者介绍

古川 裕 (ふるかわ・ゆたか)

大阪大学人文学研究科教授、香港教育大学人文学院中国語学学科名誉教授、世界漢語教學學會副會長、桜美林大學孔子學院理事。

専門分野は現代中国語認知文法研究、日中対照言語学。主な著作に《現代漢語認知文法と教學文法研究》(商務印書館，2021)、《対日漢語文法教學法》(共著，北京語言大學出版社，2013)、『超級クラウン中日辞典』(主編，三省堂，2008，日本東京)などがある。

古诗今译：阳春歌

古詩解讀：陽春歌

长安白日照春空，绿杨结烟垂袅风。
披香殿前花始红，流芳发色绣户中。
绣户中，相经过。
飞燕皇后轻身舞，紫宫夫人绝世歌。
圣君三万六千日，岁岁年年奈乐何。

作者：[唐]李白
[唐]李白
翻译：谢秦 谢秦

【読み下し文】

長安の白日春空を照らす、緑楊煙を結んで裊風に垂る。
披香殿の前花始めて紅に、流芳色を發す繡戸の中。
繡戸の中、相い經過す。
飛燕皇后輕身の舞、紫宮夫人絶世の歌。
聖君三万六千日、歳々年々樂を奈何。

【現代語訳】

長安の春は、いとも長閑けく晴れ渡って熙熙たる白日は空に輝く、
緑に煙る楊柳は、そよ吹く東風に垂れている。
後宮のうちにおいて披香殿前の花は初めて紅にほころび、
花の香りが流れ渡り、色鮮やかに、繡戸にその影を映している。
繡戸の中には、幾多の宮女が往来するのも、引きを切らず。
やがて奥御殿においては、趙飛燕にも負けない容貌の皇后が、いとも軽い感じで掌上の舞を踊り、
未央宮の中で第一であると称される李夫人のような妃嬪が歌を唄うとまことに世に類を見ないものであろう。
聖天の君主の喜びは申すまでもなく、太平の日に際し、百年三万六千日、日ごと日ごと、かくの如く歓樂を極められるので、
年々歳々、時々刻々、時は移り変わるが、君主の恩徳の氣運は変わらず、歓樂も少しも衰えることはなく、まことにめでたい
ものである。☞





路遥：“平凡”中方显生命力
路遥：普通にこそ生命力がある

供图：摄图网



作者：王贇 王贇
翻译：韩宇 韩宇



供图：摄图网

中国传统文学，鲜有英雄叙事的宏大史诗，而多追求“返璞归真”的质朴生活，在平凡中体味生活情趣、彰显生命的价值。

20世纪80年代前后，当西方各种现代主义思潮参与并重塑中国文化和文学创作环境时，陕北的黄土高原因其空间地理上的相对封闭以及土地的贫瘠，既较好地保留着传统文化的深厚底蕴和“平凡”传统，又使人在艰苦的环境中愈发张扬主体旺盛的生命力，孕育出一大批与黄土地血脉相通的优秀作家，诞生出一大批别具文化深度和人性张力的文学作品。路遥及其鸿

伝 統的な中国文学には、英雄物語を描く壮大な叙事詩はほとんど存在せず、むしろ素朴な生活をありのままに捉え、平凡の中で人生の面白さを味わい、日常の中から命の大切さを伝えるものが多いのです。

1980年代頃、西洋から様々なモダニズムを受容した中国の文化および文学の創作環境は再構築されていきました。一方、陕西省北部に位置する黄土高原は地理的に孤立し、土地が不毛であることから、伝統文化の底力と「平凡」な伝統を守りつつ、厳しい環境ゆえの強い生命力を見せました。そこから、黄色い大地と深く関わりを持つ優秀な作家を輩出し、文化的にも人間的にも優れた作品を多く誕生させたのです。路遥およびその力作である『平凡の世界』は、まさにその代表的な存在です。

1949年に陕西省北部の貧しい農家に生まれた路遥は、この黄色い大地と切っても切れない深い絆があります。古くから広々とした黄土高原で、長期にわたる飢えと寒さに苦しめられた路遥は、幼い頃から冬を越す松のように、強い生存本能と闘争本能を持っていました。風や土砂に晒されながら、灼熱した太陽の下で一生懸命農作に励んだことも、「窑洞」と呼ばれる横穴式の住居で寒さを凌ぎ、空腹に耐えかねて荒野で根っこや茎を掘り起こし、鳥の卵や野生の果実を必死に採ったこともありました。この忘れられない飢餓と貧困の経験は、彼に粘り強さを身に付けさせただけでなく、陕西省北部の貧しい農民をはじめ、普通の人々に対する思いやりの心を育てました。平凡な生い立ちだからこそ、並ならぬ生命力と人間愛を育み、のち路遥の執筆活動を成功させた鍵にもなりました。

1973年に延安大学中国語学科に入学した路遥は大学卒業後、陕西省の有名な文芸誌『陝西文芸』の編集者として働きました。幼い頃から文学に憧れていた彼にとって、体系的な執筆教育と文学界に近い仕事内容は恵まれた環境となり、一本の生命力の強い花がその頃、咲こうとしています。

篇巨制《平凡的世界》便是其中耀眼的明珠。

路遥，1949年出生于陕北贫苦的农民家庭，与这片黄土地缘分可谓血浓于水。黄土高原，自古便是苍莽、悲怆之地。长期饥饿、寒冷的生存困境使路遥自童年起便如寒冬的劲松，具有强烈的生存意识和拼搏精神。他曾在风沙、烈日中挥汗开垦，曾在阴冷的窑洞中忍受切肤之寒，更是常常饿得发慌，绝望地在野地寻觅雀蛋和野果、刨挖树根与地茎。这种刻骨铭心的饥饿和匮乏既磨炼了他坚韧的意志，也让他对包括陕北贫苦农民在内的平凡的人有着切身的同情。路遥出身平凡，却被以这样一种不平凡的方式赐予了蓬勃的生命强度和深情的底层关怀。这一切，都为路遥文学创作上的成功奠定了基础。

1973年，路遥进入延安大学中文系学习。大学毕业后，他在陕西知名的文学杂志社《陕西文艺》担任编辑。完整的学术训练和毗邻作家圈的工作环境，为从小就憧憬文学创作的路遥提供了得天独厚的创作条件。一朵生命力顽强的花，即将绽放。

路遥虽然自1970年起发表过多篇诗歌和短篇小说，但都未能激起水花。他真正在文坛亮相并引起关注的作品，是1980年发表的中篇小说处女作《惊心动魄的一幕》。这部小说在创作手法上深受法国作家雨果《九三年》的影响，描写了革命斗争时代一名农村基层干部的自我牺牲。小说赞扬其良善之余更闪耀着人道主义的光芒。该小说荣获首届“全国优秀中篇小说奖”。

《惊心动魄的一幕》的发表几经波折，虽尚未形成具有路遥个人特征的成熟风格，其发表后的成功却大大激励了路遥的创作信心。此后，路遥的优秀作品如雨后春笋般蓬勃而出，形成了20世纪80年代中国文坛一股强劲的“逆流”。

80年代的中国文坛，是西方各种先锋主义创作技法的实验田，文学创作日益精英化。而路遥，作为黄土地养育的农民的儿子，坚持最传统的现实主义创作手法，坚持底层叙事、农村视角，用“大白话”讲述平凡人最平凡的故事。即便有争议，如被同行斥为落伍、粗陋、不解风情，路遥仍如一匹倔强的野马在属于自己的那片自由文学领地上潇洒地奔驰，孤傲且不羁。创作于1982年的中篇小说《人生》，标志着路遥这种平民化、乡土

1970年以降、路遥は詩や短編小説を多数発表しましたが、話題にはなりません。彼が本格的に文壇デビューを果たし、注目を集めた作品は、1980年に発表された自身最初の中編小説『惊心动魄的一幕』でした。この小説は、フランスの作家ヴィクトル・ユーゴーの作品『九三年』の執筆スタイルに深く影響を受けたもので、文化大革命中に農村の現場で働く末端幹部の自己犠牲性をテーマとし、その善良さを讃え、ヒューマンイズム溢れた作品となりました。一方、発表には紆余曲折がありましたし、まだ自分の執筆スタイルが完全に確立できていなかった時期なので、この小説の成功は大きな励みとなり、第1回「全国優秀中編小説賞」を受賞したことを皮切りに、路遥は次々と優れた作品を世に送り出し、1980年代の中国の文学界に「アンチ主流」の風を吹き込みました。

1980年代の中国の文学界は、各種の西洋の前衛的な技法の実験場であり、執筆活動のエリート化もかなり進んでいました。それに対し、黄色い大地に育てられた農民の息子である路遥は、最も伝統的なリアリズムを受け継ぎ、農村ならではの視点から下層階級の生活に焦点を当て、「飾りのない言葉」で普通の人々の日常を描くという姿勢を貫きました。一部の同業者から「時代遅れ」や「無礼」、「面白みがない」などと批判されても、路遥は孤独で自由奔放な野生の馬のように、その批判をもとせずに自分に与えられた文学の世界をひたすら走り回っていました。さらに、1982年に書かれた中編小説『人生』をもって、庶民性、郷土性に富んだ路遥のリアリズムの執筆スタイルが確立されたと考えられます。

当時流行りのモダニズムの技法に対する抵抗も、伝統的なリアリズムの継承も、古代と現代、中国と外国の間を行き来する彼の妨げにはなりません。路遥は今と昔、都会と農村の中間地帯に身を置き、現代の中国社会が激しく変わっていく様子を力の限り伝えました。彼の作家としての地位を確立させた代表作『人生』では、陝西省北部の黄色い大地での生活を背景に、苦渋の選択を強いられた農村の「有志青年」たちの悲劇が綴られています。「失敗した人生」は普通の人々にとってありがちなものにも見えますが、自ら苦難を経験したことや一般庶民に対する深い理解から、路遥はそれを個人の問題ではなく社会全体の問題、しかも伝統文化と新しい文化の対立による不平等だと捉え、ひととき旺盛な生命力が次第に衰えていく若者の哀歌を歌い上げました。

その後、路遥はリアリズムの執筆スタイルと愛溢れる心を持ち、強い社会的責任と高い理想を掲げ、社会的不平等や農民の実生活をテーマにし、下層階級の奮闘を描く短編小説・中編小説を多く発表

化的现实主义创作风格走向成熟。

对时髦的现代主义创作技法的排斥和对传统的现实主义的坚守，并未妨碍路遥融通古今中外的创作视野。他在现代与传统、城市与农村的交叉地带以力透纸背之笔耕耘，叙写了当代中国社会的变迁。作为奠定路遥文学地位的成名作，小说《人生》以陕北高原的城乡生活为背景，描写了农村“有志青年”艰难抉择的悲剧。对苦难的切身体会和对平凡人的深情观照，使得这个看似平凡的个人故事、“失败的人生”被路遥通过新旧文化冲突所造成的不平等升华成了意义深远的普遍性故事，谱写了一曲青年旺盛生命凋零的悲剧之歌。

此后的路遥，坚守着卓尔不群的现实主义创作风格和深沉博大的人道主义情怀，以强烈的社会责任感和理想激情，继续发表了一系列体察社会不公、关注农民境遇、讴歌底层劳动人民的中、短篇小说，如《在困难的日子里》《黄叶在秋风中飘落》《你怎么也想不到》等，迅速成为当时中国拥有读者群体最为广泛、阅读量最大的作家之一。

しました。『在困難的日子裏』（1982年）、『黄葉在秋風中飄落』

（1983年）、『你怎麼也想不到』（1984年）などの作品によって、さらに周知されるようになり、当時の中国において最も読まれる作家の一人になりました。

ついに百万字越えの力作『平凡の世界』を発表した路遥は、自分らしさを貫くことで異次元な輝きを放ちました。1983年から執筆スタートしたこの作品は、1986年に第1巻が出版され、1988年に全3巻が出揃い、その間6年もの歳月を要し、苦難の連続でもありました。近代中国文学の王冠の宝石として知られるこの作品は、1970年代半ばから1980年代半ばにかけて、陝西省北部の黄色い大地という都会と農村の中間地帯に生きる普通の人々の生き方をパノラマのように映り出し、激動の時代における普通の人々が歩んだ曲がりくねった道を壮大に、また力強く再現しました。

『平凡の世界』の主人公である孫兄弟は、もともと陝西省北部で暮らす農民でした。改革開放後、中国の農村では家族請負制度が実施されるようになり、農業の生産性が大幅に上昇した結果、孫兄弟は仕事と活路を求め、生まれ育った黄色い大地を離れ、都会へと出稼ぎに出て行かざるを得ませんでした。この小説では、新



摄影：魏彬 魏彬



摄影：魏彬 魏彬

这一坚守，终在路遥百万字体量的集大成之作《平凡的世界》中大放异彩。《平凡的世界》自1983年起笔，1986年出版第一部，至1988年第三部出版，历时六年，整个过程充满艰辛。作为中国当代文学皇冠上的明珠，《平凡的世界》以恢宏的气势、劲健的笔力，全景式呈现了中国自20世纪70年代中期至80年代中期，陕北黄土这一城乡交叉地带平凡人的生活，深刻地展示了平凡人在时代大变革中所走过的艰难曲折道路。

《平凡的世界》中的主人公孙家兄弟，原本是陕北黄土地上的农民。改革开放之后，中国的农村开始实行家庭联产承包责任制，农村的生产效率大大提高，孙家兄弟不得不离开黄土地到城市寻找工作机会和生活出路。小说所聚焦的，正是以孙家兄弟为代表的广大步入新时期的农民在身份转型中自我认知、身份界定的困境，以及自我意识觉醒后的自我超越。

《平凡的世界》中的一切，是与路遥血肉相连的最熟悉的生存情境和生活环境。不只是孙家兄弟，小说中的其他人物，农民、工人、创业者、教师、学生等，既是最普通的人，也是路遥亲身体验过的角色。这些人

物，带着路遥童年贫苦时代的记忆形象，又联通着数

時代に突入した膨大な数の農民たちが、アイデンティティ変容の中でいかにアイデンティティのジレンマと向き合い、自意識に目覚めた後もまたそれまでの自分をいかに超えていくかという点にスポットライトを当てたのです。

『平凡の世界』を構成するすべての要素は、路遥が身をもって経験した場面や環境でした。孫兄弟のみならず、農民や工場労働者、起業家、教員、生徒など他の登場人物も、ごく普通の人々であり、彼自身がそれまで経験した人物でもあるのです。これらの登場人物は、彼の貧しかった幼少期にも実際に存在していましたし、また読者のそばにもいるかのように、大勢の人の姿と重なります。これらの普通の人々はまた路遥と同じく、逆境に直面しても決して屈することなく、粘り強さを武器に、苦しみを進む原動力に変えていきました。彼らの奮闘は、激動の時代において自らの運命を変えようとする普通の人々の群像の一部であり、自分にしか味わえない平凡だけど立派な人生を送るよう、若い世代に大きな影響とインスピレーションを与えました。1980年代から1990年代にかけて、数え切れないほどの若者たちは改革開放の追い風を背中に、また全国に吹き荒れる工業化の波に乗って、農村を出て都会に行き、自分の青春と夢を追いかけていました。そのため、『平凡の世界』が出版されるや否や、有志の若者たちの心の拠り所になりました。

亿计的普通人，仿佛他们真实地生活在读者周围。面对苦难，这些平凡的普通人有着路遥式的坚韧不屈，在逆境中张扬着顽强的生命力，将苦难转化为一种前行的精神动力。他们的奋斗经历，融于社会变革时代中每一个试图改变命运的普通人的奋斗群像中，影响并激励着一代青年人谱写属于自己的平凡且壮丽的人生画卷。20世纪八九十年代，在改革开放的春风里，在工业化浪潮席卷全国的大背景下，无数青年走出农村，奔向城市，去追逐属于自己的青春和梦想。因此，《平凡的世界》一经出版，便成了激励这些有志之士的精神食粮。

路遥《平凡的世界》成功的根本原因，在于这种以自身经历的真实感来写普通人，在于以温情和顽强的笔触来激励年轻人，更在于顺应了新旧社会剧烈变革下人们普遍的精神困境、心理渴望和社会需求。尤其在80年代追求精英化之路的文学与普通大众日趋脱节的背景下，路遥在高品质小说创作和适合普通民众阅读之间找到了联通的接口。

《平凡的世界》三部曲于1991年荣获中国长篇小说的最高奖项之一“茅盾文学奖”。获此殊荣、成功跻身中国一流作家之列的路遥并未沾沾自喜，而是以随笔的形式回顾、反思自己的创作历程和不足，发表了个人创作随笔《早晨从中午开始》。

用路遥自己的话说，这个标题意在表达自己拼搏、奋斗的态度，即便生命已经进入正午，自己的工作仍要像早晨的太阳一般充满着朝气和活力。次年，年仅42岁的路遥因肝硬化腹水医治无效在西安去世。一匹倔强的骏马，在不止狂飙中耗尽了自己的体力。他璀璨且顽强的一生，可惜就这样过早地结束了。

中国的传统文化，赞扬平凡的生命力，歌颂小草夹缝求生，松柏凌冬傲雪。路遥，从陕北黄土地走出，是最平凡的贫苦农村中出生的孩子，携带着最质朴的中国传统文化因子。路遥的一生是平凡的一生，从农民、教师、大学生到编辑，没有过高官厚禄，却在时代中深深刻下自己旺盛生命力的印记。路遥文学创作中的众多人物都是最平凡的普通人，却成为整个时代无数奋斗青年心目中最具生命力的“英雄群像”。路遥的小说创作手法用的是最平凡、最传统的现实主义，却成为中国当代文学之林中最具生命力的经典之一。

路遥，用他42年的青春华章，真正诠释了“平凡中方显生命力”这句话的质感和厚度。

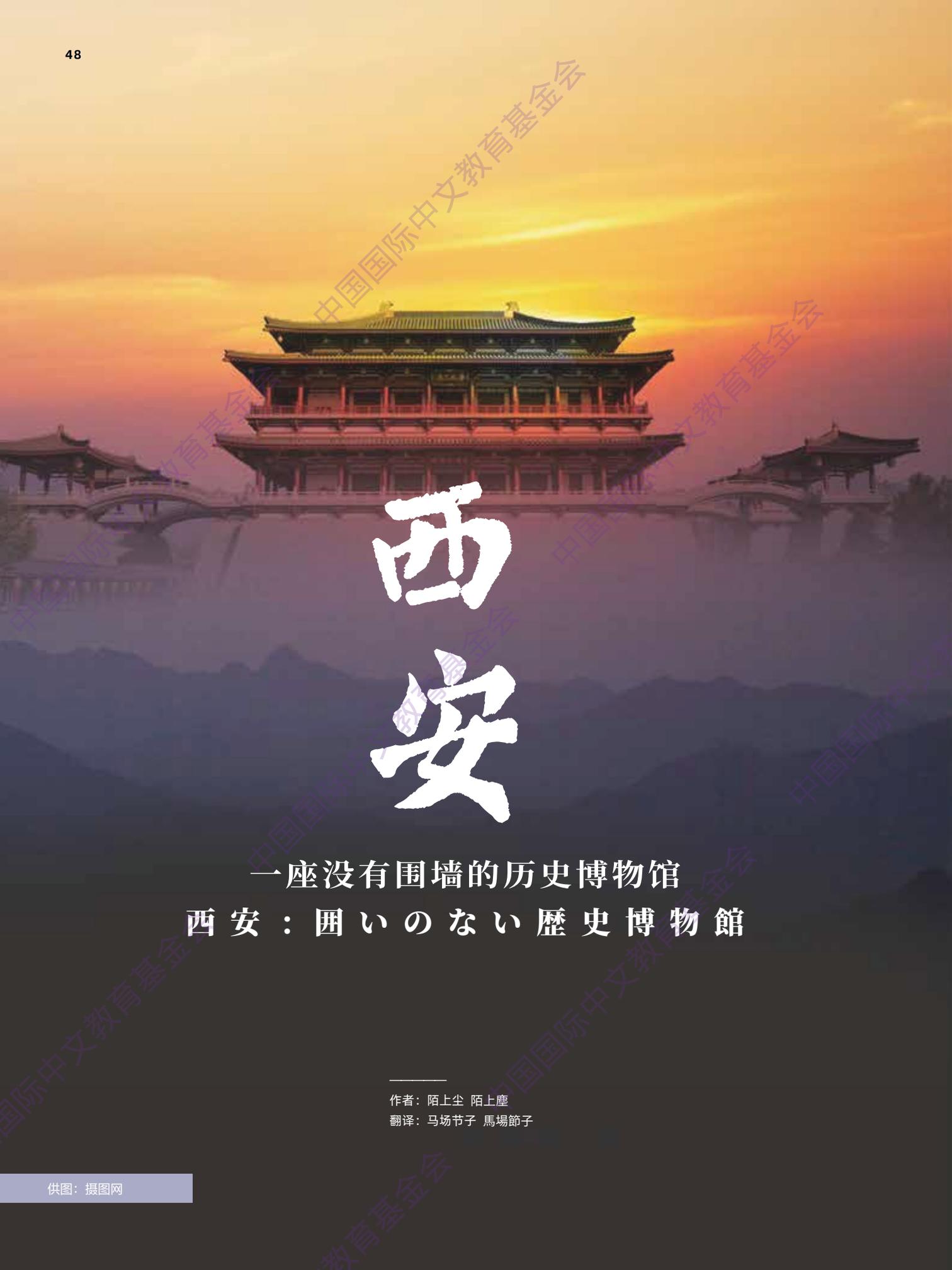
路遥の『平凡の世界』が成功した最大な理由は、自身の経験と感情で普通の人々を描き、暖かく熱の入った書き方で若者を励まし、変化の激しい時代に生きる人々共通の精神的ジレンマや、心理的欲求、および社会的なニーズに応えることができたからです。とりわけ1980年代、エリート化の進む文学の世界は普通の人々から遠ざかっていく中で、質の高い作品と一般大衆にも受け入れられる読みやすさの間に絶妙なバランスを生み出すことが大かっと思われま

す。1991年、3部作となる『平凡の世界』が中国長編小説の最高峰の一つとされる「茅盾文学賞」を受賞し、路遥も中国の一流作家の仲間入りを果たしました。にもかかわらず、彼は自慢することなく、エッセイという形で自身の執筆を振り返り、問題点を洗い出すことに取り組み、のちに『早晨從中午開始』という執筆エッセイ集としてまとめました。

路遥自身の言葉を借りれば、このタイトルは彼の闘争本能の表れであり、人生が半ばを過ぎても、執筆活動は朝日のように元気と活力に溢れたものでなければならないという。翌年、路遥は肝硬変による腹水のため、わずか42歳の若さで西安にて他界しました。体力の限り走り続ける負けず嫌いの競走馬のように、彼の粘り強く輝く人生はあまりにも早く幕を閉じたのです。

中国の伝統文化では、隙間に生える草や冬を凌ぐ松のように、どこにでも見られるような生命力を讃えています。貧しい普通の農家に生まれ、陝西省北部の黄色い大地から頭角を表した路遥には、中国の文化における最も素朴で伝統的な要素が息づいています。路遥は農民、教員、大学生、雑誌編集者の仕事を経験し、生涯高い給料をもらうことも重要なポストに就くこともなかったのもかわらず、時代を力一杯に生きた証をしっかりと残すことができました。路遥の作品に登場する人物はみな、最も普通の人々である一方、その時代において奮闘する数億人の若者の心に生きる「英雄の群像」でもあるのです。路遥は、最もよく知られる伝統的なアリズムの執筆スタイルを取りながら、近代中国文学における不朽の定番を作り上げました。

このように、路遥は42年間の人生を通して、「普通にこそ生命力がある」という言葉の重みを大切に教えてくれたのです。 孔



西安

一座没有围墙的历史博物馆
西安：囲いのない歴史博物館

作者：陌上尘 陌上塵

翻译：马场节子 馬場節子



供图：摄图网

喜欢旅行的人们，每到一个陌生的城市，总要去当地的博物馆逛逛，了解当地的物产和故事，才算是不虚此行。但是到了西安，就觉得大可不必，因为这座古都之城本身就是一座没有围墙的博物馆。置身其中，不论是文景路、贞观路等道路的名字，还是香积寺等随处可见的古建筑，或者是人们的日常生活里，无不体现着历史的韵味。

作为中国历史上绝无仅有的十三朝古都，西安的地理优势也成就了其在文化上无与伦比的地位。从地理位置来看，西安处在关中平原的核心，这里西有散关、东有潼关、南有武关、北有萧关，又有渭河横贯东西，冲击成涵养了中华文明的“八百里秦川”。从秦朝开始一直到盛唐，西安先后历经了十三朝的繁华，建都时间长达1100多年，涵盖了中华文明从早期到繁华的阶段，也凝聚了中国历史发展的雄厚与苍凉。在世界文明史上，西安是人类历史上第一个人口逾百万的国际化大都市，与埃及的开罗、希腊的雅典和意大利的罗马一起并称为世界四大古都，是人类文明史不可或缺的重要组成部分。

旅行好きな人は、見知らぬ街に行くたびに、現地の博物館を見物しないではいられない。そしてその土地の物産やここで起きた出来事を知ってはじめて、ここに旅したかいたがあったと思うものだ。だが西安に限っては、その必要は全くない。なぜならばこの古い都それ自体が囲いのない博物館だからだ。その中に身を置けば、文景路や貞観路といった通りの名前でも、香積寺などあちこちに見られる古い建築物でも、あるいは人びとの普段の暮らしの中でも、歴史の味わいを体現していないものはない。

中国の歴史上他に例を見ない13の王朝の古都として、西安の地理的優位性もまた、その比類がない文化的地位の確立に貢献している。地理的には、西安は関中平原の中心に位置し、西に散関、東に潼関、南に武関、北に蕭関がある。さらに渭河が東西を貫いて流れ、その土砂が沖積して、中華文明をはぐくむ「八百里秦川」が形成された。秦朝から盛唐に至るまで、西安では前後して13の王朝が栄えた。首都であった期間は1100年以上に及び、中華文明の初期から繁華に至る各段階を包含している。また西安には、中国の歴史発展における豊かさと荒涼感も凝縮されている。世界の文明史上において、西安は人類の歴史上初めて人口が百万を超えた国際的大都市で、エジプトのカイロ、ギリシャのアテネ、イタリアのローマとともに世界四大古都と並び称され、人類の文明史上欠くことのできない重要な構成要素である。



供图：摄图网

最为耀眼的是位于城市中央的西安明城墙。作为世界上历史最悠久、保存最完整的古代城垣建筑，其基础结构在唐朝时便已完成，后来逐渐加固，最终形成了墙高12米、底宽18米、顶宽15米的长方形城墙，厚度大于高度，雄浑开阔，墙顶可以跑车和操练兵丁。明清以后，西安城四面各开一座城门，城东是长乐门，城南是永宁门，城西是安定门，城北是安远门，城门之上都有城楼，均为二层三重檐歇山式高大建筑。我们可以窥见当时统治者对西安这块战略要地安定边疆、长享太平的厚望。城墙包括护城河、吊桥、闸楼、箭楼、正楼、角楼、垛口等一系列军事设施。比较特殊的是，城南有魁星楼，它是唯一一座与军事防御无关的建筑。魁星又名“奎星”，是古代二十八星宿之一，传说主宰文运兴衰，被人们尊称为“文曲星”。如果被他的朱笔点中，就能考中状元。明、清时的西安府学和孔庙建在城墙旁边，魁星楼也顺势建在城墙之上，这是历来读书人都喜欢造访的地方。

以城墙为起点，往南边走，就能遇到大雁塔与小

最も壯観で眼を引くのは、街の中央に位置する西安の明代城壁である。世界で最も歴史が古く、最も完全な形で保存されている古代城壁建築として、その基礎構造は唐の時代にすでに完成し、その後徐々に補強されて、最終的に高さ12メートル、底部の幅18メートル、上部の幅15メートルの長方形の城壁が形成された。高さよりも横幅が広く、雄渾でのびのびとした造りになっており、城壁の上で車を走らせたり軍事教練をしたりすることもできる。明清以降、西安城の四方にはそれぞれ一か所ずつ城門が開かれた。東の長楽門、南の永寧門、西の安定門、北の安遠門である。城門の上にはいずれも櫓が築かれ、どれもみな二層三重檐の入母屋造となっている高大な建築物である。当時の統治者が西安という戦略的要害に対して、辺境を安定させ、太平を長く享受できるようにとの大きな期待を抱いていたことを窺い知ることができる。城壁には濠、吊橋、閘楼、箭楼、正楼、角楼、垛口(城壁上の凹状の部分)など一連の軍事設備が付带的に設けられている。かなり特殊なのは、城南にある魁星楼で、軍事防御と関係のない唯一の建築物である。魁星は「奎星」ともいい、古代における28の星宿の一つで、文運の盛衰をつかさどると伝えられ、尊敬の念を込めて「文曲星」とも呼ばれている。この魁星に朱筆を入れられたら、科挙で首席合格し

雁塔。两座塔都兴建于寺庙鼎盛的唐朝，其中大雁塔位于慈恩寺内，相传是玄奘法师为保存由天竺经丝绸之路带回长安的经卷、佛像而主持修建的，距今已有1300多年的历史。塔高七层，由塔基、塔身、塔刹三部分组成，每层都分布不同的人物故事和舍利，最高处塔顶刻有圣洁的莲花藻井，中央为盛开的莲花，花瓣上刻字，连环为诗。著名的“二圣三绝碑”就在塔的底层南门洞两侧的碑石上，是由唐太宗李世民和唐高宗李治撰文、大书法家褚遂良手书而成的。小雁塔位于荐福寺内，有13层，与大雁塔东西相向，是早期方形密檐式砖塔的典型作品。历史上“关中八景”之一的“雁塔晨钟”就是由小雁塔和寺内古钟构成的。

大雁塔再往南，就是大唐芙蓉园。这座2002年在原唐代遗址之上复兴而建的游乐园，占地约1000亩，是一个全方位展示盛唐历史风貌的园林式文化景区，里面有紫云楼、仕女馆、御宴宫、杏园、芳林苑、凤鸣九天剧院、唐市等许多仿古建筑，是中国最大的

て状元の称号を獲得することができるのだという。明・清の時代の西安府学と孔子廟は城壁のそばに築かれたため、魁星楼もそれに合わせて城壁の上に造られた。ここは昔からずっと読書人たちが喜んで訪れるところである。

城壁を起点として、南に行くと、大雁塔と小雁塔にぶつかる。この2つの塔はいずれも寺々が栄えた唐時代に築かれた。そのうち大雁塔は慈恩寺の境内にあり、玄奘法師がシルクロードを経て天竺から長安に持ち帰った経巻や仏像を保存するためにその建造を主導したと伝えられ、今から遡ること1300年以上の歴史を有する。塔は7層で、基礎部分、塔本体、相輪の3つの部分から成り、各層にはいずれもさまざまな人物の逸話が描かれ、舍利が置かれている。塔のてっぺんには清らかな蓮花藻井が彫られている。中央は咲き誇る蓮の花で、その花びらには字が刻まれ、一つ一つの花びらが連なって詩となっている。名高い「二聖三絶碑」は塔の1階にある南門洞の両側の碑石に刻まれているが、これは唐の太宗・李世民と高宗・李治が書いた文章で、有名な書家褚遂良の



筆になるものだ。小雁塔は薦福寺の境内にある。13層から成り、大雁塔と東西に向かい合っていて、初期の方形密檐式磚塔の代表作である。歴史に名高い「関中八景」の一つ「雁塔晨鐘」はこの小雁塔と寺の境内にある古鐘で構成されるものである。

大雁塔からさらに南に行ったところが、大唐芙蓉園である。2002年に唐代の遺跡があった場所に復元されたこのテーマパークは、敷地面積約1000ムー(約67ヘクタール)、盛唐時代の歴史的風貌をパノラマ展示する庭園式観光地である。中には紫雲楼、仕女館、御宴宮、杏園、芳林苑、鳳鳴九天劇場、唐市など昔の建物を模して造られた多くの建築物があり、中国最大の唐帝室レプリカ建築群で、盛唐の風貌をさまざまな角度から人びとの前に描き



供图：摄图网

仿唐皇家建筑群，给人们全方位展示了盛唐风貌。

城牆北边是汉长安城未央宫国家考古遗址公园和大明宫国家遗址公园。汉代的长安城是古代丝绸之路

出している。

城壁の北側は漢長安城未央宮國家考古遺跡公園と大明宮國家遺跡公園である。漢代の長安城は古代シルクロードの出発点であり、中国の



的起点,也是中国历史上第一个国际大都会,建有未央宫、长乐宫、北宫、建章宫及八街九陌、长安九市等,对古代东方的城市建设产生了极其深远的影响,与古罗马城东西相对,遥相辉映,被当时世人并称为“东长安、西罗马”。大

明宫是唐时京城中规模较大的宫殿,位于当时长安城北的禁苑中,其坐北朝南,气势宏伟。目前的遗址略呈梯形,有殿堂楼亭等遗址 40 余处,是唐代宫城建筑的杰出代表,被誉为“丝绸之路”的东方圣殿。

沿着大明宫再往东北骊山方向走,就路过华清池。这是在唐华清宫遗址之上建立的一座皇家宫苑,以其亘古不变的温泉汤水和唐明皇与杨贵妃的爱情故事而闻名。继续往前走,就是大名鼎鼎的秦始皇陵。陵墓整体位于骊山北麓,是中国历史上第一位皇帝嬴政的陵寝,四周分布着大量形制不同、内涵各异的陪葬坑和墓葬,包括举世闻名的“世界第八大奇迹”兵马俑。

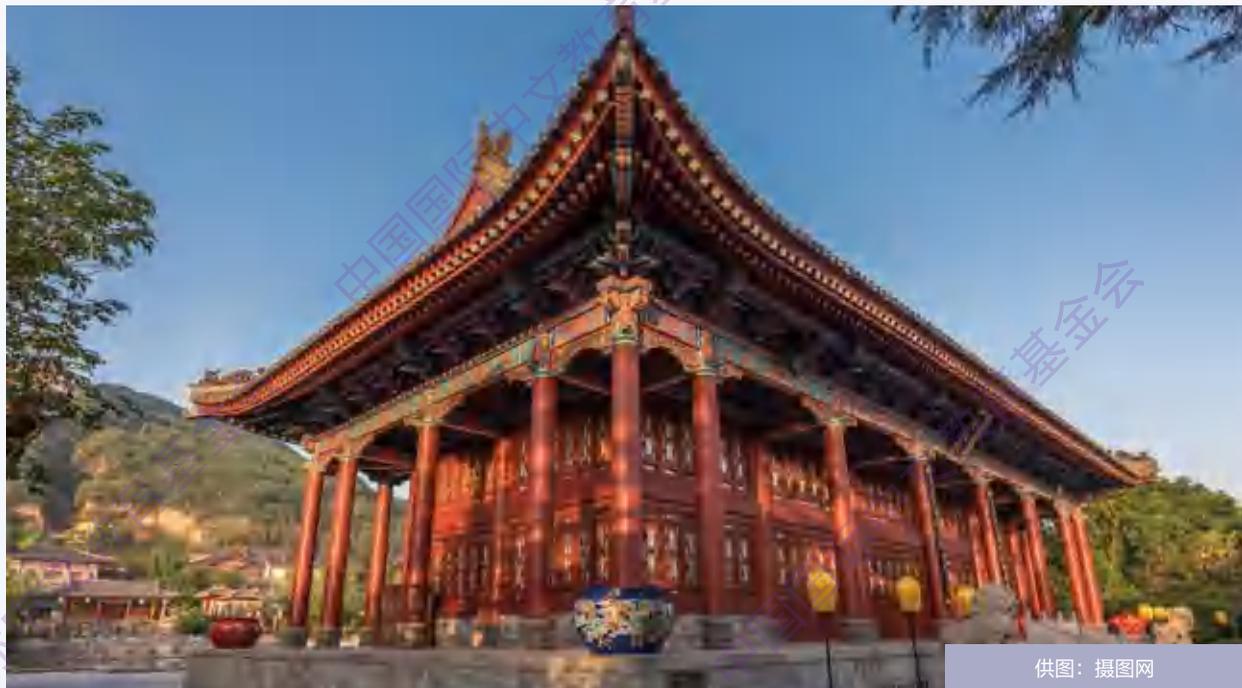
历史上初的国际大都市でもあった。未央宮、長樂宮、北宮、建章宮ならびに八街九陌、長安九市などが築かれ、古代の東方における都市建設にとってきわめて深い影響をもたらした。古代ローマ城と東西で相対し、遥かに隔たりつつも互いに輝きを競い、当時の人びとに「東の長安、西のローマ」と並び称された。大明宮は唐時代の都の中でも規模がかなり大きな宮殿で、当時の長安城北の皇帝の御苑の中に南向きに位置し、雄大な氣勢を誇っていた。現在の遺跡は台形のような形状を呈しており、高殿やあずまやなどの遺跡40数か所が見られる。唐代の宮城建築を代表するすぐれた建築物であり、「シルクロード」の東の神殿とたたえられている。

大明宮に沿ってさらに東北へ、驪山の方角に行くと、途中に華清池がある。ここは唐の華清宮の遺跡のあった場所に建てられた宮中の庭園で、千古不易の豊富な温泉の湯そして唐の玄宗皇帝と楊貴妃の愛情物語によって名高いところである。さらに先へ進んでいくと、有名な秦の始皇帝陵がある。陵墓全体が驪山の北麓に位置している。ここは中国の歴史上最初の皇帝嬴政の陵墓で、周囲には形式も中身もそれぞれに異なる陪葬穴や墳墓が点在している。世に名高い「世界の8番目の奇跡」兵马俑もこの中に含まれる。

歴史上の文化の中心として、西安はかつては仏教文化伝播の中心だったから、寺が最も多い街でもある。ここには晋の武帝の時に建てら



供图: 摄图网



供图：摄图网

作为历史上的文化中心，西安一度是佛教文化传播的中心，也是寺庙最多的城市。这里有晋武帝时建造的大兴善寺，它是隋唐时期的皇家寺院，也是中国“佛教八宗”之一“密宗”的祖庭。此外，还有“律宗”的祖庭净业寺、“华严宗”的祖庭华严寺、“净土宗”的祖庭草堂寺、“唯识宗”的祖庭大慈恩寺等等，以及唐代高僧玄奘法师及其弟子窥基、新罗弟子圆测的舍利墓塔所在的兴教寺。

与寺庙相对应的是文人墨客造就的碑林文化，这也是西安一大景观，汇聚了从汉到清的各代碑石、墓志1000多块。西安不仅是古代文化典籍刻石的集中地，也是历代著名书法艺术珍品的荟萃之地，是艺术家们的朝圣之地。

西安的底蕴与美丽，除了表现在这些形形色色的宏伟建筑上，更存在于古都人们的日常生活里。这里曾经繁华冠绝，也曾饱经战火的蹂躏，一切经历造就了人们包容、耐劳的性格，深沉厚重的音调也足以彰显中华文明的自信。在这座没有围墙的博物馆里面，走在大街小巷，就是翻阅历史！

れた大興善寺がある。これは隋唐時代の帝室の寺院で、中国の「仏教八宗」の一つである「密宗」の祖庭でもある。このほか、「律宗」の祖庭である浄業寺、「華嚴宗」の祖庭・華嚴寺、「浄土宗」の祖庭・草堂寺、「唯識宗」の祖庭・大慈恩寺などもあり、さらに唐代の高僧・玄奘法師とその弟子の窺基、新羅出身の弟子である円測の舍利墓塔が納められている興教寺もある。

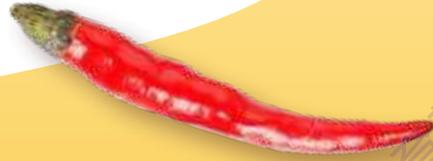
寺に相応するのが、文人墨客が創りあげた碑林文化である。これも西安の大きな見どころの一つで、漢から清までの各時代の碑石や墓誌1000基以上が集められている。西安は古代文化の典籍の石碑が集まっている地であるだけでなく、歴代の名高い書道芸術の逸品が一堂に会している地でもあり、芸術家たちの巡礼地である。

西安の文化の根底にあるものと美しさは、こうした種々の雄大な建築に現れているだけでなく、古都に住む人びとの日常の暮らしの中にも息づいている。この地はかつて繁華を究め、戦火の蹂躪をもなめつくした。それらすべての歴史が人びとの包容力に満ちた我慢強い性格をはぐくんだ。話すときの冷静で重厚な音調もまた中華文明の自信をくっきりと映し出すに足るものである。この囲いのない開かれた博物館の中で、街のあちこちをそぞろ歩けば、すなわち歴史をひもとくことになるだろう。 ㊦

ヨウ
油
ポー
澆
ラー
辣
ズ
子

ビャンビャン麺：
時空を越える陝西の麺

作者：萝卜丝 蘿蔔絲
翻译：桥本和子 橋本和子



油泼辣子
biang biang 面：
穿越历史的陕西面食



“八百里秦川尘土飞扬，三千万老陕怒吼秦腔，吃一碗干面喜气洋洋，没有辣子嘟嘟嚷嚷。”这首气势如虹的陕西民歌唱出了西北的深沉雄厚，也唱出了陕西人最为人们熟知的特色：喜食面食。陕西人爱吃面是出了名的，面条就是陕西人的影子，可谓是有陕西人的地方就有好吃的面条，这已经成为一种地方文化的符号。在各式各样的面食里面，要说最具气势、最有特色、流传最悠久的，当数油泼辣子 biangbiang 面了。看过电视剧《白鹿原》的人，经常会被剧中的油泼辣子 biangbiang 面馋得直流口水！

「八百里秦川に塵土舞い上がり、三千万の陝西人が高らかに秦腔を歌い上げる、一杯の乾麺を食せば笑顔満面、けれども、トウガラシがなければ文句たらたら」。この虹をも貫か

んばかりに威勢のいい陝西の民謡は、西北地方の豊かな土地柄を歌い上げるとともに、麺好きという世間で最もよく知られた陝西人の特色をも高らかに歌い上げている。陝西人の麺好きはつとに有名だ。麺は陝西人にとって影のように切っても切れないもので、陝西人がいるところには必ずうまい麺ありと言っても過言ではない。麺はすでにこの地方の文化的シンボルになっている。多種多様な麺がある中で、最も威勢がよくて、最も特色があり、最も長い歴史があるものと言えば、油泼辣子(ヨウポーラーズ)ビャンビャン麺だ。テレビドラマ『白鹿原』を見たことのある人なら、きっとドラマに登場する油泼辣子ビャンビャン麺を見ながらよく涎を流したはずだ！

关于 biangbiang 面的起源，早在秦朝时候就有了。有学者考证，biang 字的发音和当时关中地区秦人的生活方式有关。秦人做饭用盐水和面，将面团置于石头上用棒槌捶打，直到面团光滑、均匀之后，再用擀面杖擀成大面片，然后切成像裤带一样宽，下到沸腾的滚水锅中。这种响亮而浑厚的“biang—biang—”声也就成了“biangbiang 面”名称的由来。biang 字的写法也独一无二，作为陕西民间自创的一个汉字，其笔画在汉字中也是较多、较为复杂的，据说至少有 10 种不同的写法，最少的 54 画，最多的 71 画。西安地区流行的 biang 字写法口诀是：“一点戳上天，黄河两头弯。八字大张口，言官朝上走。

等になったら、麵棒で薄く延ばして広げ、それからズボンのベルトくらいの幅に切り、沸騰している鍋のお湯の中に入れる。このときに発する重々しく力強い響きをする「ビャンビャン」という音が「ビャンビャン麵」の名前の由来ともなった。ビャンという字は陝西省の民間で創作された漢字だが、その書き方も唯一無二のユニークなものであり、漢字の中でも画数が多く、かなり複雑だ。聞くところによれば、この漢字には少なくとも 10 種類の書き方があり、最も少ないもので 54 画、最も多いものでは 71 画にもなるという。西安地区で歌い継がれているビャンという漢字の字書き歌は次の通りだ。

biang

你一扭，我一扭，一下扭了六点六。左一长，右一长，中间夹了个马大王。心字底，月字旁，拴钩搭挂麻糖。推着车车走咸阳。”这么复杂的一个字，也因为这个口诀，镌刻在吃货们心中，历经千年浩瀚的历史和文化，永远留有一席之地。

ビャンビャン麵の起源については、秦朝の時代にはすでにあったようだ。学者の考証によれば、ビャン (biang) という漢字の発音は、当時関中地域に住んでいた秦の人びとの生活様式とかかわりがあるという。秦の人びとは麵を打つとき、小麦粉に塩水を加えてこね、そのこねた生地を石あるいはまな板の上に置いてたたき棒で叩く。麵生地が滑らかで均

「点が天を突き、黄河両端で曲がる。八の字が大きく口を広げ、言官は上に向かう。こっちに一ひねり、あっちに一ひねり、ぐっとひねって六点六。左に長一つ、右に長一つ、真ん中に馬大王を挟む。心の字を底に、月の字を傍らに、フックをつけてそこに飴をかける。車を推して咸陽へ向かう」。ビャンという字はこんなにも複雑なのだが、この字書き歌のおかげで、食いしん坊たちの心の中にも深く刻み込まれ、千年もの長きにわたり多くの悠久の歴史や文化を経て、永く世上に留まるものになったのである。

biangbiang 面对面比较挑剔。陕西的渭河自西向东纵贯整个关中地区，冲积而成的关中平原土质肥沃，特别适宜小麦生长，素来都是历朝历代的粮仓。当地播种的小麦一般历时十月，秋收之后饱满丰盈，以此小麦为原料而磨成的面粉，非常适合做 biangbiang 面。通常来说，biangbiang 面宽度为 3 寸左右，厚度粗略像硬币一样，长度一般在 1 米以上，俗话说“面条像裤带”说的就是这个。饭店里做 biangbiang 面也是按照面条的根数，一根面条约二两重，食客在点餐时可以按照自己的饭量直接告诉师傅做几根就行。面条的搭配也是非常有讲究，一是特色的臊子，将肉块切成黄豆大小的肉粒，倒入滚烫的油

収穫期には豊かな実りを確保できる。ここで穫れた小麦を原料に作られた小麦粉は、ビャンビャン麺用の小麦粉として最適である。一般的には、ビャンビャン麺の幅は約10cm、厚みはほぼコインと同じくらい、長さは普通1m以上ある。俗に言う「ズボンのベルトのような麺」とはこのことを指している。レストランでビャンビャン麺を作る際にも麺何本ということ念頭に置く。1本の麺の重さは約100gで、客が料理を注文する際には、自分の食べる量に合わせて直接シェフに何本作ってほしいと伝えるのである。麺に付け合わせる具材にも非常にこだわっている。一つ目のこだわりは、特色ある小



锅中炒到变色，再依次加入料酒、葱、姜、老抽、生抽、花椒等调味品进行翻炒，随后加入水和甜面酱继续翻炒，出锅时可放入少量的鸡精调味。二是令人勾魂的油泼辣子，在盛好的面上放一勺火红的辣椒面，浇上热油一激，“滋啦”一下，香气就扑面而来。

ビャンビャン麺は小麦粉にかなりこだわっている。陕西の渭河は西から東に向かって関中全域を縦貫し、沖積によってできた関中平原は土壌が肥沃で、とりわけ小麦栽培に適している。それでここはずっと歴代王朝の穀倉地帯であった。地元で作付けされる小麦は収穫までに普通10ヵ月かかり、秋の

間切れ肉だ。ブロック肉を大豆の大きさに細かく切り、熱したフライパンに入れて、色が変わるまで炒める。次に、料理酒、ネギ、ショウガ、たまり醤油、薄口醤油、サンショウなどの調味料を加え、混ぜながら強火でさっと炒める。それから水とテンメンジャンを入れてさらに炒め、最後にチキンコンソメを少量加えて味を整える。二つ目のこだわりは、魂をどこかに持っていかれるように旨い油泼辣子だ。きれいに盛った麺の上に火のように真っ赤な粉トウガラシをスプーン一杯かけて、その上に熱々の油をざっと勢いよくかけると、「ジュッ」という音が生じ、香しい匂いがプワーと漂ってくる。

biangbiang 面更有趣的在于它的吃法，本地人都以碗口很大的“老碗”盛食，这样才能把臊子和辣子的香气充分搅拌均匀，吃起来带劲。正宗的陕西人都不说“吃面”，而是“啍（dié）面”，我们可以理解为大口吃面，是一种酣畅淋漓的欢畅和豪爽，再配上几瓣蒜片，劲道爽滑，越吃越爽，兴致起了，还可以蹲着或者站着吃，这便是无数陕西人的心头好。有道是，油泼辣子 biangbiang 面，越吃越美赛神仙。

ビャンビャン麺がさらに興味深いのは、その食べ方にある。地元の人には「老碗」と呼ばれる直径の長い大きなお碗に盛って食べる。その「老碗」を使えば細かく切った肉とトウガラシの香味をまんべんなく混ぜ合わせる事ができ、食べると気合が入るのだ。生粋の陝西人は麺を食べることを「吃面」と言わず、「啍面」だと言う。

「啍」の語感は、大口を開けて麺をかきこむというふう理解すればいい。のびのびとして豪快で、気分のいい食べ方だ。ニンニクと一緒に食べれば、歯ごたえがあるのに滑らかで喉越しがよく、食べるほどにますます爽やかな気分になり、楽しさが満ちてくる。そして、しゃがんで食べてもいいし、立って食べたっていい。これが多くの陝西人のお気に入りの習慣なのだ。世人曰く、油泼辣子ビャンビャン麺は、食べるほどに仙人にも勝る境地に浸ることができる、と。

当然、美食是无国界的。这么好吃的陝西美食，自然会不经意间走向友邻国家的餐桌。凭借 biang 字的独特魅力，biangbiang 面被日本 7-11 便利店看上，成为日本 7-11 便利店货架上叫卖的“微波美食料理”，吸足了人们的眼球。不仅如此，biang 字在日本还拥有了自己的周边，这个充满远古图腾精神气质的文字，被印在了衣服上、帽子上、杯子上，俨然成为一种人们追求的时尚，以至于这样一个让中国人都感到极难的字，热爱 biangbiang 面的日本人却能现场写出来。

もちろん、おいしいものに国境はない。これほどまでにおいしい陝西グルメは、いつの間にもやらお隣の国の食卓にもお目見えするようになった。独特な魅力を持っているビャンという漢字のお陰もあってか、ビャンビャン麺は日本のコンビニ・セブン-イレブンの目に止まり、お店の商品棚で「レンジグルメ料理」として販売され、人びとの目を引いている。それだけではなく、日本ではビャンという漢字をあしらった関連グッズまで出回っている。太古の昔のトーテムのような摩訶不思議な雰囲気満ちたこの漢字は、洋服や帽子、カップにプリントされ、まるで人びとが追い求めるスタイリッシュな商品になっているようだ。中国人でさえ極めて難しいと感じるこの字を、ビャンビャン麺をこよなく愛する日本人はなんとそらすらすらと書くことができるのだ。



供图：摄图网

biangbiang 面不仅仅是一种为人喜欢的陕西面食，更是一种文化的传承，它承载着千百年来黄土地上人们奋斗的精神和品格。如果您时间允许，可以漫步在西安的街头，找一家门面不起眼的小店，进去啜一碗 biangbiang 面，端起来的是生活的欢乐，感受到的是这座城市带来的历史沧桑！

ビャンビャン麺は、ただ単に人びとに愛される陕西の麺というだけでなく、文化の継承という側面を持っていることに、

より大きな意味がある。ビャンビャン麺の中には、千年の長きにわたって西北の黄色い大地で暮らす人びとの奮闘精神や品格が込められている。もし時間が許せば、西安の街角をそぞろ歩き、地味な店構えの店に入って、大口を開けてビャンビャン麺を一杯かきこんでみませんか。手にしたお碗の中には暮らしの喜びが満ちあふれ、この街の歴史の移り変わりをひしひしと感じることでしょ！**孔**

一骑的中国大冒险

其五
その5

西游记——丝绸之路旅程终于临近西安

作者：宫崎一骑 宫崎一骑

翻译：陈龙 陳龍

一騎とミドルキングダムの冒険

西遊記～シルクロードはとうとう西安へ～

“真好吃！！”喷香的烤串配上啤酒，还有新朋友。这天偶然在路上相识、还一起去观赏了嘉峪关的马特和我，正在市内的夜市大快朵颐。往斜前方看去，远处的电视屏幕上正在播放着在我的“大本营”北京举行的大型阅兵仪式。这一天是国庆节，也是中华人民共和国成立70周年的纪念日。

「おいしー！！」香ばしい串焼きにビール、そして、新しい友達。この日たまたま路上で出会い、嘉峪关を一緒に観光したマットと僕は、市内の夜市で食事を楽しんでいた。横目では、遠くのテレビに映る、僕の本拠地・北京で行われていた大規模なパレードを眺めていた。この日は国慶節。中国建国70周年の記念日だった。

我：“今天不怎么拥挤嘛，挺幸运的啊！但是，接下来会怎么样呢……？”

僕）「今日はそんなに混んでなくて良かったねー。でも、この先はどうだろ…？」

马特：“你之后有什么计划吗？”

マット）「これからはどんな予定なの？」

我：“接下来我想去张掖！因为我想去看那个！”

僕）「次は張掖に行こうと思ってるよ！あれが見たいから！」

马特：“啊，是那个！？我也是这么想呢（笑）。我们就一起去吧！”

マット）「あれか！？俺も同じこと考えてた（笑）。じゃあ一緒に行こうよ！」

就这样，我们继续一起结伴丝绸之路的旅程。下一个目的地是张掖。那里虽然不是有名的观光地，但实际上是丝绸之路上最精彩的地方之一！

僕たちは、もう少し一緒にシルクロード旅を続けることになった。次に目指すのは張掖。メジャーな観光地ではないが、実はシルクロードで最もすばらしい場所の1つだ！

次日早上。从嘉峪关到张掖大约有250公里，我们乘坐高铁只花一个小时的时间就到了。

翌朝。嘉峪关から張掖までは約250kmもあったが、僕たちは高速鉄道に乗ってたった1時間ほどで移動してきた。

“像甘肃省这样的内陆地区都已经齐备了现代化的高铁设施啊！而且，又便宜又快。在车上打了个盹儿的工夫就到了……”

「甘肅省のこんな奥地まで現代的な高速鉄道が整備されているのか！しかも、安くて速い。寝てたら一瞬で着いちゃった…」

中国高铁的发展让我瞠目结舌，今天我再一次实实在在地感受到其中带来的好处。这是真的吗？中国……

中国における高速鉄道の発展には目を見張るものがあるが、改めてその恩恵を痛感させられた。まじか、中国…。

到了张掖之后，我们首先前往当天住宿的地方“丝绸之路青年旅舍”。这家青年旅舍正如其名中的“丝绸之路”所示，非常的国际化。不仅有中国人，还有许多其他国家的游客住宿。而且工作人员能说一口流利的英语，并针对张掖旅游资源丰富却分散、难以规划观光路线的情况热心地为游客提供帮助。马特和我也为什么时候去看“那个”好，来征求意见。

張掖に着いた僕たちは、まず今日の宿である「シルクロード・ホステル」に向かった。このホステルは、シルクロードと冠した通りとても国際的で、中国人だけではなくさまざまな国の人が泊まっていた。しかも、スタッフは流暢な英語を話し、見どころは豊富だが観光しづらい張掖の旅を親切にサポートしてくれる。マットと僕も、いつ「あれ」を見に行くべきか相談することにした。

我：“我们想去看‘那个’，日出和日落哪个时间段比较好？”

僕）「僕たちあれに行きたいんだけど、朝日と夕日どっちがいいかな？」

旅舍工作人员：“日落的时候光线照射下来看起来会很好看哦！”

ホテルのスタッフ）「夕日の方がいい感じに日が射してきれに見えるよ！」

现在的时间大约是正午12点，外面天空晴朗。

時刻は大体12時。外を見ると空はきれいに晴れわたっている。

我：“要不，我们今天去吧……！！”

僕）「じゃあ、今日行っちゃうか…！！」

我们就这样匆忙决定了立刻去看张掖的最大目的地。

僕たちは急ぎよ、張掖に来た最大の目的地を早速見に行くことにした。

不过，在此之前，我们决定顺便先去一个岩石山峰簇生耸立、拥有名为“冰沟丹霞”奇特地貌的地质公园。我们在岩石山上下徘徊，最后眺望着其中如要塞一般的巨石。这个地方没有什么名气，我们也完全没有对它抱过什么期望，可是没想到却如此精彩，实在是令我们惊喜。

でも、その前についでに、「冰溝丹霞」という奇妙な岩山

がニョキニョキとそびえ立つ地質公園に行くことにした。僕たちは岩山を上にも下にも歩き回り、最後は要塞のような巨石を眺めたが、まさか、全く期待していなかった無名の場所がこんなにかっこいいとは思いませんでしたので驚きでした。

接下来，日落时间将至，天气也果如所料的良好。我们做好充分准备向着“那个地方”进发。

そして、そろそろ夕日の時間。案の定天気も良かったので、僕たちは満を持してあの場所に行った。

“哦哦！！真的分成七种颜色！”

「おお！！ 本当に七色に分かれてる！」

这就是以“Rainbow Mountain”之名称的“七彩丹霞”地貌景观。地表上岩石山的地层色彩斑斓，层次分明，令人惊叹。实际上，我以前并不知道张掖这个地方，但是看到了这里的美景照片后非常震惊，所以就一直想要来看看。



それは、レインボー・マウンテンとも称される「七彩丹霞」。地上に現れた岩山の地層が、驚くほど色鮮やかにはっきりと分かれている場所だ。実は、僕は以前、張掖という町を知らなかったが、いつか見たこの場所の美しい写真に衝撃を受けてからというもの、ずっと来たいと思っていた。

“我终于来到这里啦！而且拜夕阳所赐，景色真是美极了！”

「やっと来られた！ しかも、夕日のおかげでめっちゃきれい！」

这简直就是绝景啊。

まさに、絶景だった。

可是，这种美景却没有持续很长的时间。当我们想要再去景区的其他地方的时候，国庆节期间前来游玩的大批游客让我们很难顺利移动。就在这个时候，天空突然阴了下来，然后整个地区变得昏暗，让人无法再欣赏眼前的七彩瑰丽。真是太遗

憾了！不过，我却是非常中意这个地方，此时此刻下定决心今后一定要找时间再次来到这里（笑）。

でも、そんな時間も長くは続かなかった。公園内の違うエリアへ移動するとき、国庆节で集まった大勢の観光客でなかなか動けず、その間に急に曇ってきてしまったからだ。すると、すでにどこも薄暗く、レインボー感を楽しめなくなってしまった。残念すぎる！でも、この場所がとても気に入ったので、またいつか絶対に戻ってこようとこの瞬間に決めた（笑）。

当晚。当我们回到青年旅舍时，在马特和我入住的四人房里，有两个中国人也住进来了。

その夜。ホステルに戻ると、マットと僕の4人部屋に2人の中国人がいた。

他们：“你好！吃饭了吗？”

彼ら）「ニーハオ！ 君たち、もうご飯食べた？」



用“中国固定模式”和我们打招呼的他们，说接下来要去张掖有名的柴火铁锅料理餐厅去吃饭，于是我们就跟着他们一起去了。

そんな中国お決まりのフレーズで話しかけてくれた彼らは、これから张掖名物の鍋料理を食べに行くというので、僕たちもついて行くことにした。

他们是在兰州上大学的学生，不是很擅长英语，我就在中间充当英语和中文的翻译，大家一起聊了很多，相处得非常愉快。当然，张掖的特色美食也非常好吃。

彼らは蘭州の大学に通う学生だ。英語はあまり得意ではなかったが、僕が英語と中国語の通訳もしつつ、いろいろと話して楽しかった。もちろん、张掖名物もおいしかった。

第二天，马特和我还去了张掖的藏传佛教寺院聚集地——马蹄寺，以及拥有中国最大室内卧佛像的大佛寺等地方。除了这些，张掖还有被称为“中国的克罗拉多大峡谷”的平山湖大峡谷等景区。拥有如此之多的景区，而且每个景区的可观赏性都非常高，像张掖这样的旅游城市实属少见。这里可真是一块丝绸之路上不为人知的好地方啊！

张掖では、次の日もマットと一緒に、チベット仏教寺院などが集まる馬蹄寺や、中国最大の屋内寝釈迦仏がある大仏寺

などを回った。张掖には、他にも中国のグランドキャニオンといわれる平山湖大峡谷などがあるが、こんなにどの見所もレベルが非常に高い観光地は珍しいので感心させられた。まさに、シルクロードの穴場だ！

张掖之旅结束了，马特和我也终于到了分别的时候。我将前往宁夏回族自治区的银川，而马特则要去位于青海省深处的藏族部落。最后，在结束大佛寺的游览之后，马特与我道别，率先出发了。我一个人站在空荡寒冷的寺门前，不禁感到些许寂寞。

そんな张掖での滞在を終えると、マットと僕はとうとうお別れに。僕が寧夏回族自治区の銀川という場所に向かう一方、マットは青海省の奥地にあるチベット族の集落へ行くからだ。最後に大仏寺の観光を終えるとマットが先に出て行ってお別れとなったが、ひとり寒空の寺の前に残された僕は、どこか寂しかった。

不过即便如此，在几个小时之后，我也坐上了夜行列车开始前往银川的长途跋涉。在银川，在昔日的西夏王国遗址和伊斯兰教的清真寺，我久违地独自享受自治区当地特有的魅力。之后，我又经由以黄河黄沙交融奇观而著称的沙坡头，向着下一个目的地兰州进发。

とはいえ、そんな僕も、その数時間後には夜行列車で銀川





摄影：宫崎一骑 宫崎一骑

まで大移動した。銀川では、久しぶりに1人で、昔の王国・西夏の遺跡やイスラム教徒のモスクなど自治区ならではの一面を楽しんだ。そして、黄河と砂漠が一緒に見られる絶景と評判だった沙坡頭を經由し、次の目的地・蘭州に向かった。

夜行列車抵达兰州时是早上5点多。兰州给我的第一印象不太好。这是因为兰州是一个拥有300万人口、可以称得上“规模挺大”的城市，可在这里却找不到价格便宜、允许外国人入住的旅馆。最后，我好不容易在一栋昏暗破旧的大楼的一角找到了一家青年旅馆，在冰冷的大堂等了两三个小时，才终于得以入住。

僕が夜行列車で蘭州に着いたのは朝の5時すぎ。その第一印象は最悪だった。蘭州は人口300万人ほどのそれなりに大きい都市なのに、外国人の宿泊できる安宿が全然見つからなかったからだ。結局、暗くてボロいビルの一角になんとかホテルを見つけたものの、極寒のロビーで2、3時間待ってやっと部屋に入れてもらった。

“啾——！啾——！嗡、嗡、嗡。”

「ブーッ！ブーッ！ザワ、ザワ、ザワ」

从严寒中解脱出来、正在熟睡的我，被一阵阵噪音吵醒了。

つらい寒さから解放されて熟睡していた僕は、何か騒がしい音で目が覚めた。

“呀，坏啦！”

「あ、やばい！」

其实，我和在张掖结识的几位中国朋友约定，到了兰州后要和他们见面。可是刚才我睡过头了，他们已经给我打了好几通电话。而且，现在就能听到旅馆外他们说话的声音。我急忙忙地从旅馆飞奔而出，和他们一起去吃饭。

実は、蘭州では張掖で仲良くなった中国人の友達たちと再会することになっていた。でも、僕が完全に寝過ぎていたので、彼らは何回も僕に電話をかけてきていた。しかも、ホテルの外からは彼らの話し声も聞こえる。僕は急いでホテルを飛び出し、彼らと一緒にご飯に行った。

于是，我又一次享受和他们交谈以及美食带来的乐趣。其中有一位朋友来自哈尔滨、对战争时期的日本极为憎恶，但是他却对我说：“下次你来哈尔滨，我给你当导游。你一定要联系我！”这令我印象深刻。（可结果因为疫情影响，我不得不放弃冬天到哈尔滨参加冰雪节的计划……）

そして、今回も食事と会話を楽しんだ。中でも、戦中の日本に嫌悪感を持つハルビン出身の学生が、それでも僕に、「ハルビンに来たときは案内してあげるから連絡してね！」と言ってくれたのは印象的だった。（結局、冬にハルビンの氷祭りを見に行くという僕の計画はコロナ禍で断念させられたが…）

吃完饭，他们中一位叫“Whale”的人留下来，带着我游览兰州，到了晚上，还带着我去吃兰州有名的牛肉面（好吃极了！），算是玩得最高兴的一天。在此之后，我也经常和Whale联系，从他那里得到不少旅行的建议，真是承蒙关照了。（谢谢！）

食後は、彼らのうちの1人・Whaleが残ってくれて、蘭州案内をしてくれた。夜には、蘭州名物の牛肉麺まで連れて行って（おいしかった！）、最高の1日だった。Whaleにはその後も度々連絡を取って旅のアドバイスをもらうなど、とてもお世話になった。（謝謝！）

如此兰州，它的热门景点是顺着黄河而上几个小时才能到达的炳灵寺。因为沿途要从公共汽车转乘游艇，所以去那里很不容易。但是当行至黄河深处，望见峭壁之间开凿出的巨大石窟时，自己的心情便犹如往日的冒险家见到此景一样激荡澎湃。而且，这里也属于被列为世界遗产的丝绸之路的一部分。哎呀，到底是丝绸之路，太赞了！！

そんな蘭州のハイライトは、黄河を数時間上っていったところにある炳靈寺だった。途中、バスからスピードボートに乗り換える必要もあって行くのは大変だったが、黄河の奥地で、崖に掘られた巨大な石窟を見つけたときは、まるで本当

の昔の冒険家のように大興奮だった。そして、ここも世界遺産に登録されているシルクロードの一部だ。いやー、シルクロードはやっぱりカッコいい！！

回兰州的路上，从游艇下来去往公交车站的时候，听到有人说附近有一个“不同颜色河流的交汇之处”，就顺便去了一趟。结果，这竟然是一个大发现！因为这个交汇之处，居然是“黄河由清变黄的地方”（交汇前黄河呈清蓝色，交汇之后的后半段就变为黄色）。信不信由您，但这光景就是这么的不可思议。

蘭州への帰り道。ボートを降りてバス乗り場へ向かおうとすると、近くに「色の違う川が合流する場所」があると聞いて行ってみた。すると、大発見をしてしまった！なんと、その合流地点は、「黄河が黄色くなる場所」だったのだ（合流前の黄河はまだ青い川で、もう片方の黄色い川と合流して黄色くなっていた）。信じるか信じないかはあなた次第だ



が、なんとも不思議な光景だった。

可是我在这里沉醉的时间太久了，结果拉我过来的出租车抛下我先走了，让我在这远离人烟的山里面徒步走了好几公里。幸好路上有一对善良的老夫妇偶尔开车路过，把我送到了公交车站。托他们的福，我能够顺利地返回兰州，并且最后终于来到丝绸之路旅程的终点——西安。

ただ、長い時間見とれていたせいで乗ってきたタクシーに置いてかれ、人里離れた山から何キロも歩いて帰る羽目になってしまった。でも、たまたま車で通りかかった優しい老夫婦が声をかけてくれ、僕をバスターミナルまで送ってくれた。そのおかげで、僕は無事に蘭州へ帰ることができ、そし

て、とうとうシルクロード旅の終点・西安に到達することができた。

丝绸之路，从古时起便有无数人员和物资往来其中。发展到了现代，穿梭在这里的已不再是慢悠悠的骆驼，而是速度惊人的高铁。即便如此，这里至今依然保留着璀璨多样的人文和自然，让来此探访的我们沉迷不已。

古代より多くの人と物が行き交った西の回廊・シルクロード。現代では、のんびりとしたラクダではなく、驚異的な速さの高速鉄道が走るまでに発展している。でも、今でもそこには、多種多様な人々、文化、自然が残っていて、旅に訪れた僕たちを魅了する。❷



我的

东瀛

寻迹

(上)

私の日本の工芸探訪 (前編)



作者: 张宇 張宇

翻译: 三好雅彦 三好雅彦



作为一名手工艺从业者，我总会听到关于日本传统工艺和现代手工艺的各种各样的“传闻”，所以我一直希望有机会可以亲眼去看看日本工匠们的工作环境，了解他们的创作精神和思想。我想了解他们的工匠精神是否有如此的高深莫测？他们的工匠的学习成长过程是什么样的？我也想知道他们的工艺、器物美学来自何处？他们的器物审美观经历了什么样的蜕变？在当下这个停滞的、无欲的日本社会里，年轻人们对工艺、对文化又有怎样的看法和需求？而且，由于日本经济在经历过快速发展之后一直陷入停滞，日本工艺在这个阶段的发展和经验教训或许也可以为我们传统工艺今后的发展提供一份借鉴和参考。

一人の手工芸家として、私はいつも日本の伝統工芸と現代の手工芸についてのさまざまな「うわさ」を耳にしており、日本の職人の仕事の環境を自らの目で見て、彼らの創作の精神と思想を理解したいと思っていた。彼らの匠の精神が計り知れないほど高遠であるのかも知りたかった。彼らの職人技の学習と成長の過程はいかなるものなのか。工芸や器物に対する彼らの美学はどこから来ているのか。彼らの器物に対する美的概念はどのように変化してきたのか。停滞し、先の見えない日本の社会において、若者は工芸と文化にどのような見方をし、何を望んでいるのか。私には知りたいことがたくさんあった。そして、日本の経済は急速な発展を経て停滞に陥ったため、日本の工芸のこの段階での発展と経験から学んだ教訓は、私たちの伝統工芸の今後の発展にとって一つの戒めと参考になるかもしれない。

3年前,通过孔子学院安排的参访机会,我终于可以走近日本工匠,了解他们的真实生活。在这次紧密的旅程之中,我专程请日本工艺会帮助安排了对日本传统工房的深入访问,探访传统工艺专营店,了解专营店的销售方式;参观日本国家博物馆对传统文化的收藏与展示;感受日本当代工艺名家的独创技艺与社会化培训;了解日本社会对传统工艺的推广方式以及二手市场的古董店里传统工艺品的境遇等。我将此次行程的收获和个人感受,分为几个部分加以归纳记述,希望可以为中日之间传统工艺的交流往来,提供一些可参考的资料。

就整体而言,日本的工艺从明治时代开始出现现代化的转折至今日,并没有像中国的工艺和工匠一样,经历过审美观上几次巨大的颠覆式转变。日本社会在传统日本与向西方学习的日本这两种状态下,并没有出现过度的矛盾和全面性的文化冲突。也正因为如此,日本的传统工艺被自然而然延续下来,并与现代日本社会和谐共生。日本的器物工艺在现代日本社会里仍然保留了它本来的初始状态,而令我最为感兴趣的则是它的手工精致与粗糙并行,雅致与通俗的情志同在不悖。

我发现日本在美学与礼制上也并未发生非常巨大的变化,不过日本的器物附属于礼制,当生活的礼制和习俗有了些许改变的时候,一切都随之在变化。就像日本传统民间美术工艺“人形”,以前是为了日本的三月女孩节、五月男孩节而必备的装饰物品,但随着现代日本社会生活方式发生变化,民众对这一习俗的需求逐渐变淡,作为



3年前,孔子学院が計画した訪問の機会を通じて,私はついに日本の職人と身近に接触し、彼らの本当の生活について学ぶことができた。そのときの旅のタイトなスケジュールの中で,私は日本工芸会に特別に手配を依頼して,日本の伝統的な工房を奥深く訪問することができただけでなく,伝統工芸の専門店を訪ね、販売の仕方も理解することができた。国立博物館では伝統文化の収蔵と展示を見学し、現代の日本における工芸の名人の独創的な技術と社会化への訓練を体験し、日本の社会がどのように伝統工芸を普及させているか、中古市場のアンティークショップで伝統工芸品をどのように扱っているかなどについて理解した。私のその旅の収蔵と個人的な感想をいくつかの部分に分けて記述することで,中国と日本の伝統工芸の交流のために,参考となる資料を提供したい。

全体として見ると,日本の工芸は明治時代に現代化の転換を始めて今日に至り,中国の工芸と職人のような,美的概念の度重なる巨大な破壊的変革を経験したことはない。日本の社会は伝統的な日本と西洋を学ぶ日本という2つの状況下でありながらも,多くの矛盾や文化の全面的な衝突が出現したことはない。そのため,日本の伝統工芸は自然に継続し,現代の日本社会とも調和し共存している。日本の器物の工芸は現代の日本の社会においても,依然として初期の状態を保っている。私が最も興味を持ったのは,職人の技に繊細さと粗さが並立し,優雅さと俗さが違和感なく共存していることであった。

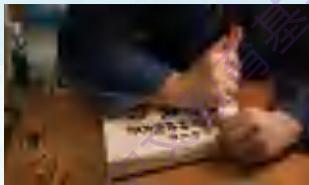
私は日本では美学としきたりが大きな変化を起こしていないことを発見した。しかし,日本の器物はしきたりに付随するもので,生活のしきたりと風習がわずかに変化したら,そのすべてがそれに伴って変化する。日本の伝統的な民間の美術工芸である「人形」も,かつては3月の女の子の節句(桃の節句)、5月の男子の節句(端午の節句)に欠かせない装飾品であったが,現代の日本社会で生活様式が変化するにつれ,民衆がこの風習に求めるものは次第に淡泊にな

附属的“人形”传统民间美术工艺也日渐衰落萎靡。

再看日本的寺庙，几乎已经成为庭园的载体，庭园的重要性似乎超越了寺庙本身。寺庙建筑隐匿在庭园当中，而寺庙建筑里的佛像让步成为一个点缀亦或是主人。只有一尊像在，代表一个主要的精神存在，外在形式并不重要，也不需要很明显。器物是精神的外化与呈现，蕴含的精神与礼制才是真正的核心。

日本传统工匠们现在也是进退维谷，他们掌握着不可替代的传统精湛工艺，能够制作出非常优秀精美的作品。但随着现代社会生活方式对他们的抛弃，许多制造器物的工艺正逐渐失去存在的意义。而身在其中仍然固执守护着传统工艺的工匠们，似乎还没有找到能够改良境遇的方法和出路。不过，当下停滞发展的日本社会让传统工艺能够得到些许喘息的机会。

其实，我们中国的工匠们和传统工艺美术行业也面临着同样的困境，即便是如今的泥人张虽然已打造出品牌，形成专业化的发展运营模式，也得到了国家非遗项目的保护与支持，但在未来发展方面同样面临着困境。如何妥善对待文化遗产，让传统工艺技巧得以保存延续，依然需要我们中日两国后人不断地去摸索和努力。



っていき、節句に付随する「人形」の伝統的な民間の美術工芸も徐々に衰退していつている。

日本の寺を見ると、ほとんど庭園が主体になっており、庭園の重要性は寺そのものを超えているようだ。寺の建築は庭園の陰に隠れており、寺院建築の中の仏像は、本来の役割を譲って飾りになったり、本来の役割の主役であったりする。1体の仏像は、ある主要な精神的存在を象徴するもので、外部の形はそれほど重要ではなく、求められる形が明確なわけでもない。器物も心を形に込めて表現するものであり、そこに包含された精神としきたりがまさにその核心なのである。

日本の伝統工芸の職人は今、進退窮まっている。彼らは代えがたい伝統工芸の卓越した技術を身に付け、非常に優秀で精巧な作品を制作することができる。しかし、現代社会の生活様式が彼らから離れていくにつれて、多くの器物の工芸が次第に存在意義を失いつつある。そして、伝統工芸をかたくなに守ろうとする職人は、自分たちの置かれた境遇を改善する方法や問題の出口を見いだせていないように思える。それでも、発展が停滞している現在の日本の社会において、伝統工芸はしばしの休息の時を得ているといっている。

実のところ、私たちのような中国の職人と伝統工芸美術業界も、同じような苦境に直面している。現在、泥人張はブランドを立ち上げ、専門化を発展の運営モデルとして、国の無形文化遺産プロジェクトの保護とサポートを受けているが、将来の発展においては日本と同様の困難な状況に直面している。いかにして文化遺産と適切に向き合い、伝統工芸の技巧を保存して継続させていくかは、依然として私たち中国と日本の両国の後継者が絶えず摸索し努力していかなければならない問題である。☞



作者简介：张宇先生是“泥人张”第六代传人，现任天津市泥人张世家绘塑老作坊坊主，天津市泥人张美术馆馆长。自接管泥人张世家绘塑老作坊以来，积极探索传统的泥塑语言，并将这些丰富的精神意蕴完美地融汇于作品之中。

作者紹介：張宇氏は「泥人張（張式泥人形）」の第6代の継承者である。現在、天津市泥人張世家繪塑老作坊の坊主（社長）であり、天津市泥人張美術館の館長でもある。泥人張世家繪塑老作坊を継承して以降、伝統的な泥人形の言葉を積極的に探索し、その豊かな精神的な意味を作品の中に融合させてきた。



作者：张光磊 張光磊
翻译：山建国 山建国

疫情之下的孔子课堂

コロナ禍の下での孔子教室

供图：摄图网

第一天来到英国佩特文法学校时，新雨刚过，窗外是淡绿色的操场。我站在讲台上，学生们纷纷举手提问：你来自中国哪里？中国的中学和英国的有什么区别？从他们的眼睛里，我看到了对一个遥远的东方国度的好奇与憧憬。这种惊异的感觉，让我想到初到英国时，坐在伦敦帕丁顿的车站里，看着许多灰鸽子大摇大摆地在餐桌上走来走去的情景，那时的心境也是同样的不可思议。作为孔子学院的国际中文教师志愿者，我观察、注视着这个国家，而这里的人们也以同样的方式倾听、想象着中国。中文是桥梁和纽带，它让我们走在了一起。疫情又让我和我的学生们体悟到不同寻常的孔子课堂。

初日にイギリスのペイツグラマースクールに到着したときは、ちょうど雨上がりで、窓の外には芝生のグラウンドが輝いていた。私が教壇に立つと、生徒たちは矢継ぎ早に手を挙げて、「先生は中国のどこの出身ですか」「中国とイギリスの高校にはどんな違いがありますか」と質問した。そのまなざしから、私ははるか遠くにある東の国に対する生徒たちの興味や憧れを感じた。この驚きの目を見張る感覚により、私はイギリスに来た当初のことを思い出した。私はロンドンのパディントン駅で、人が食事をするテーブルの上をたくさんの灰色のハトが堂々と動き回る様子を目の当たりにし、そのときも同様に不思議な心境であった。私は孔子学院の国際中国語教師ボランティアとして、この国をつぶさに、そして注意深く見つめている。そうすることで、この地の人々も中国に対して耳を傾け、想像を膨らましてくれるのである。そして、中国語はその懸け橋や絆であり、それを通じて中国と各国の人々が歩みをとにする。そのような中、コロナ禍によって、私と生徒たちは非日常的な孔子学院での授業を体験することになる。

从2021年到2022年，尽管线下课程一直进行着，疫情的阴云却从未散去。特别是2021年末，英国疫情再达高峰，每天上课我都会看见有几个学生的位子空着。感染的学生只好居家隔离，但一到上课时间，他们就会准时通过网络加入课堂。这时，教室里的学生都会激动地对着摄像头用中文喊道：“你们好吗？”“希望你们好起来！”“我们很想你！”

2021年から2022年にかけては対面形式の授業を継続していたが、コロナ禍の暗雲は晴れなかった。特に2021年末はイギリスの感染状況が再びピークを迎え、感染した生徒が自宅での隔離を余儀なくされたため、毎日、教室に空席が散見された。しかし、ひとたび授業の時間になると、感染した生徒たちは定刻通りにオンラインの教室に入室してくる。そして、教室の生徒たちは興奮気味にカメラに向かって中国語で、「元気？」「早く良くなってね」「会いたいよ」と声をかけていた。

没有感染的学生们，戴着口罩上中文课，一课不落。最令我感动的是，有一天，我在批改学生作文的时候，发现一个英国学生写下了这样一段话：“我家住在伯明翰，伯明翰离学校很远，我每天早上5点起床，骑自行车去伯明翰火车站，然后，我坐火车到切尔滕纳姆，下车后，我坐公共汽车到中心，再走路到学校上中文课……”

一方、感染していない生徒たちはマスク着用の上で休まず授業に出席した。ある日、強く心を打たれた出来事があった。私が生徒の作文を添削していたとき、あるイギリス人の生徒が書いた話を発見した。そこには「私の家はバーミンガムにあり、学校からとても遠いです。毎朝5時に起きて、自転車に乗りバーミンガム駅に向かい、電車でチェルトナムへ行き、下車してからバスで市の中心部へ行き、そこからさらに徒歩で学校に向かい、中国語の授業を受けています」と書かれていたのである。

伯明翰离我们孔子课堂有74公里。除了伯明翰，还有许多学生每天都是从很远的地方赶来，布里斯托、斯特劳德……我知道，这些孩子们要穿过黎明前的黑暗，跨越70多公里的距离，最后坐在教室里，打开面前的课本，开始学习中文，其间一定要付出无数的艰辛和汗水。每每看到或想到这些，我都会暗下决心：一定要教好中文，让学生们学有所成。

バーミンガムから私たちの孔子教室までは74キロある。バーミンガム以外にも、多くの生徒がブリストルやストラウドなどの遠方から通学している。夜明け前の暗闇を通り抜け、70キロを超える距離を移動してようやく教室にたどり着き、目の前の教科書を開いて中国語の勉強を始める。そこには計り知れない苦勞や努力があるに違いない。そして、それを目の当たりにする、または頭に思い浮かべるとき、私はいつも「生徒に心を込めて中国語を教え、身に付けてもらおう」とそっと心に誓った。

跨越74公里的上学路

74 キロの通学路

圣诞节假期后，英国日增感染者达到了5万人，但学校还是如期开学。消毒液、口罩、检测包都已备齐，学生须出示阴性的核酸自测棒才能获准进入学校。即便如此，还是有许多老师不幸感染。为了缓解焦虑情绪，我们开始筹备春节晚会。每天放学后，我和另一位中文老师在小礼堂挥舞几米长的彩绸，练得大汗淋漓。后来我们的彩排场地转移到了操场，刺骨的寒风，丝毫没有减退我们排练的热情。

クリスマス休暇を過ぎると、イギリスの感染者数は1日当たり5万人に達したが、学校は通常通り授業を実施した。消毒液、マスク、検査キットをそろえ、生徒は学校に入る際に自己検査のPCR検査陰性証明の提示が求められた。しかし、不幸にも多くの教師が感染してしまった。焦る気持ちをなんとかしようと、私たちは春節パーティーの準備を始めた。毎日、放課後になると、私ともう1人の中国語教師が小ホールで数メートルの長さのダンスリボンを汗びしょりになるまで練習した。その後、私たちはリハーサル会場を屋外のグラウンドに移した。身を刺すような寒さだったが、練習に対する情熱は全く冷めなかった。

疫情不改中国

“年味儿”

コロナ禍でも「春節の雰囲気」は変えず

到了大年三十，教室门口的对联增添了许多年味儿。每个人见面都会说上一句“过年好”或“恭喜发财”。我们给每位同事都准备了小礼物。令人惊喜的是，学校的本土中文老师凯瑟琳也给我们送了卡片。“我不太确定卡片上的中文意思对不对”，她神情紧张地对我说，“要是不对，一定见谅！”拆开后才我发现，卡片上的中文完全正确，上面还有一只老虎图案。这时我才想起，很久之前我对凯瑟琳说过，虎年是我的本命年，没想到她一直记着。临走时，她提醒我：“记得穿红色，会带来好运呢！”我忍不住笑了，她已经中国化了。那一刻，疫情带来的压力好像在这新年喜庆的气氛中消散了。

旧暦の大みそかになると、教室の扉に貼られた対聯が春節の雰囲気を盛り上げ、顔を合わせると「過年好」や「恭喜发财」とあいさつしていた。私たちはそれぞれの同僚にちょっとしたプレゼントを用意したのであるが、驚いたことに、現地の中国語教師のキャサリンも私たちにメッセージカードを送ってくれた。彼女は緊張した面持ちで私たちに「カードに書いた中国語の意味が正しいかどうか不安だけど、もし間違っていたら許してね」と言った。カードを開くと、その中国語は非常に正確で、虎のイラストまで描かれていた。そのとき、私はキャサリンに自分が寅年であることをかなり前に話したことを思い出したが、それを覚えてくれているとは思もしなかった。さらに、私がある場を後にする際に「赤い服を忘れずに着れば、幸運が訪れますよ」と忠告までしてくれたので、思わず笑ってしまった。彼女は中国人になったように見えた。この瞬間、コロナ禍による重苦しい空気が、新年のめでたい雰囲気で吹き飛んだようであった。

在中文教室的墙上，挂着一幅巨大的手绘长城。那是一年夏天学校组织学生去北京游览时，一位英国老师的作品。画的下面有一张合影，那时还不用戴口罩，学生们笑容灿烂。如今，学生们上课都要戴口罩，但能在一起学中文，仍然很开心，也充满了期待和渴望。记得在学习了生词“熊猫”以后，有一位学生认真地在作文里写：“我好想去中国看熊猫，我没见过真的熊猫……”有的学生还在校服的衣襟上别上小熊猫的徽章，想象着自己有一天能踏上中国的土地，看到真的熊猫。

中国語の教室の壁には、手描きの巨大な万里の長城の絵が飾られている。これはサマースクールで生徒が北京へ行ったときに、一人のイギリス人教師が描いた作品である。絵の下には集合写真があり、そのときは生徒たちがまだマスクをせずに笑顔を浮かべているが、今は授業中にマスクを着用しなければならない。しかし、生徒たちがともに中国語を学べることは今なお楽しいことであり、期待と意欲に満ちあふれている。ある生徒は「パンダ」という新出単語を学ぶと、作文の中で「私は中国に行ってパンダを見たいです。なぜならまだ見たことがないからです」と真剣に書いた。ほかにも、学校の制服の襟にパンダのバッジをつける生徒もいて、自分がいつか中国の土を踏み、本物のパンダを見ることを夢見ているのである。

一个来自中国香港的华裔学生告诉我，如果没有疫情，她每年都会跟爸爸妈妈回一趟中国，现在她已经两年没有回去了。她好想“公公、婆婆”，好想再收一次压岁钱。上课时，学生经常问我：“老师，你想家吗？”我说：“我很想念家乡，我的家乡很美。希望大家好好学习中文，也希望疫情早点结束，我们一起去中国，去看看我的家乡。”这时候，教室里会响起热烈的掌声。这掌声背后包含着学生们战胜疫情的决心、学好中文的意志和对未来的憧憬。

ある香港出身の華人の生徒は、コロナ禍がなければ、両親と毎年、中国に帰省できるのに、すでにここ2年は帰っていないと教えてくれた。彼女は祖父母に会い、もう一度お年玉をもらいたいという。生徒は授業中に「先生、実家が恋しいですか」とよく聞いてくる。私は「はい、ふるさとが恋しいです。とてもきれいなところです。みんながちゃんと勉強して、コロナ禍が早く終息したら、一緒に中国へ行き、私のふるさとを見に行きましょう」と答える。すると教室は盛り上がり拍手が湧く。この拍手の裏には、生徒たちのコロナ禍に打ち勝つ決心、中国語を身につける決意、そして未来に対する憧れが込められている。

英国诗人雪莱的《西风颂》中有一名句：“如果冬天来了，春天还会远吗？”我和我的学生们都期待着疫情的寒冬早点儿过去，孔子课堂的春天早日到来！学生们相聚中国、畅游中国的春天早日到来！

イギリスの詩人であるシェリーの『西風に寄せるオード』という作品に「冬来たりなば春遠からじ」という一節がある。私と生徒たちはみな、コロナ禍という寒い冬が早く過ぎ去り、孔子教室の春が一日も早く訪れることを心待ちにしている。生徒たちが中国に集い、中国を存分に楽しむ春が早く訪れてほしい。🌸

中文带给学生们

无限憧憬

中国語が生徒に無限の憧れをもたらす

海外孔院活动异彩纷呈

海外の孔子学院の活動が異彩を放つ

翻译：山建国 山建国



朱拉隆功大学孔院协办泰国青年领袖论坛 チュラロンコン大学孔子学院がタイの青年リーダーズ フォーラム開催に協力

当地时间2022年6月29日，“携手共建中国—东盟命运共同体”泰国青年领袖论坛在泰国朱拉隆功大学(以下简称“朱大”)成功举办。论坛由中国外文局亚太传播中心与中国驻泰国

大使馆联合主办，中国外文局亚太传播中心曼谷分社、朱大孔院、泰中“一带一路”研究中心共同承办，得到了多家智库、媒体机构的支持。

現地時間2022年6月29日、「手を携えて中国とASEANの運命共同体をともに築く」と題したタイの青年リーダーズフォーラムがタイのチュラロンコン大学(以下、チュ大)で成功裏に開催された。このフォーラムは中国外文局アジア太平洋



広報センターと在タイ中国大使館が共催し、中国外文局アジア太平洋広報センターバンコク支部、チュウ孔子学院、タイ・中国「一帯一路」研究センターが共同で実施した。このほか、多くのシンクタンクや報道機関の支援を受けた。

来自泰国政界、智库、媒体、商界和娱乐界的青年领袖参加了以“泰国青年领袖眼中的中国—东盟合作”为主题的圆桌会议，并共同探讨了如何构建中国—东盟命运共同体。此外，活动主办方还专门创作了歌曲《只怪相遇太美丽》。该歌曲由中泰青年歌手共同演唱，清新美好的音乐和充满温情的歌词表达了“中泰一家亲”的美好情感和共创未来的美好愿望。（常翔供稿）

タイの政界、シンクタンク、メディア、経済界、そしてエンターテインメント界の青年リーダーは「タイの青年リーダーの目に映る中国とASEANの協力」をテーマにした円卓会議に出席し、どのようにして中国とASEANの運命共同体を築くかについてともに議論した。このほか、主催者がこのフォーラムのために『出会いがあまりにも美しいがゆえに』を作曲した。この曲は中国とタイの若手歌手がともに歌い、すがすがしく美しいメロディーと温かい気持ちがあふれる歌詞が、「中国とタイはひとつの家族である」という美しい気持ちと、未来をともに創造するという素晴らしい願いを表現し

た。（常翔氏寄稿）

ハッサン二世大学孔子学院十周年庆典 ハッサン二世大学孔子学院の10周年記念式典

当地时间2022年6月24日，摩洛哥哈桑二世大学孔子学院在大学图书馆举行了十周年庆典。中国驻摩洛哥大使李昌林、哈桑二世大学校长穆罕默德·塔勒比(Mohammed Talbi)、上海外国语大学校长李岩松(线上参与)、中摩友好协会会长穆罕默德·哈利勒(Mohamed Khalil)，以及多家孔院友好合作单位参加庆典。庆典上，中、外方校长及院长发言、致辞；李昌林大使和穆罕默德·塔勒比校长共同为孔院十周年揭牌，并为十年以来对孔院作出贡献的单位及个人颁发了奖杯；孔院新生还为与会嘉宾呈现了精彩的表演。摩洛哥当地主要媒体7TV、Hespress等对本次庆典进行了报道。

現地時間2022年6月24日、モロッコのハッサン二世大学孔子学院が大学の図書館で10周年記念式典を開催した。在モロッコ中国大使館大使の李昌林氏、ハッサン二世大学学長のモハメド・タルビ氏、上海外国語大学学長の李岩松氏(オンライン参加)、中国モロッコ友好協会会長のモハメド・カリル氏、ならびに孔子学院の多数の友好協力団体が出席した。式典では、中国側と現地側を代表して学長や孔子学院の院長が

発言、あいさつし、李昌林大使とモハメド・タルビ学長が孔子学院10周年のプレートを除幕した。続いて、この10年間の孔子学院への貢献が顕著な団体と個人にトロフィーを授与し、孔子学院の新入生がゲストに素晴らしいパフォーマンスを披露した。式典の様子は現地の主要メディアである7TVやHespressなどにより報道された。

次日、哈桑二世大学孔院举行了十周年庆游园会。院史照片展览带领观众回顾了孔院过去十年珍贵的点点滴滴，充满中国元素的会场和传统文化体验项目吸引了包括孔院新老学生、孔院友好合作单位以及当地普通市民等在内的近400人参与。(哈桑二世大学孔院供稿)

翌日、ハッサン2世大学孔子学院は10周年を記念するガーデンパーティーを開催した。院史の写真展では、参加者が孔子学院のこれまでの10年にわたる積み重ねの数々を振り返っていた。このほか、中国の雰囲気があふれる会場と伝統文化体験プログラムが用意され、孔子学院の新旧の生徒、友好協力団体の関係者、現地の人々ら400人近くが参加した。(ハッサン2世大学孔子学院寄稿)

圆光大学孔院实施中国文化体验支援项目

圆光大学孔子学院が中国文化体験支援プログラムを実施

当地时间2022年5月30日至6月9日，在韩国益山教育支援厅的协助下，圆光大学孔子学院面向益山沃野小学的学生，实施了中国文化体验支援项目。

現地時間2022年5月30日から6月9日まで、韓国の圓光大学孔子学院が益山市教育支援庁の協力の下で、益山沃野小学校の児童のために、中国文化体験支援プログラムを実施した。

其中，一、二年级学生的授课主题为“中文儿歌与舞蹈”。来自湖南师范大学的国际中文教师将经典的中文儿歌与简单的舞蹈动作结合在一起，分段教给学生，同时还教授了一些基础的中文词汇及常用语。在面向三、四年级学生的课程中，教师们带领学生体验了中国传统艺术——剪纸，还进行了

简单的汉语朗读练习。五、六年级的学生则在圆光网络大学孙莲淑教授的带领下，体验了中国茶文化。孙教授在简单介绍了茶文化知识后，指导学生们亲自动手泡茶。此外，孙教授还特别准备了观赏性强的花茶和手工艺茶进行展示和操作，激发了学生们对于茶文化的浓厚兴趣。(韩国圆光大学孔院供稿)

1・2年生に向けては「中国の童謡と踊り」をテーマに、湖南師範大学が派遣した国際中国語教師が有名な中国語の童謡と簡単な踊りを組み合わせて、段階を踏んで教え、さらに中国語の基本語彙や常用表現を教えた。3・4年生の授業では、教師の指導によって児童が中国の伝統芸術である切り絵を体験したほか、簡単な中国語の朗読を練習した。5・6年生は、円光デジタル大学教授の孫蓮淑氏の指導の下で、中国の茶文化を体験した。孫教授は茶文化の知識を簡単に紹介した後、児童に自らお茶を入れるよう指導した。このほか、孫教授は観賞用として知られる花茶や手作りの工芸茶を特別に用意し、展示して入れ方を披露し、児童たちの茶文化への興味をかき立てた。(韓国圓光大学孔子学院寄稿)

开罗大学孔院与“汉语桥”结缘

カイロ大学孔子学院と「漢語橋」の結び付き

2008年至今，埃及开罗大学孔子学院和开罗大学中文系多次组织“汉语桥”比赛，共同培养、选拔了十几位埃及赛区的特等奖选手，前往中国参加总决赛。在教育部中外语言交流合作中心举办的“汉语桥”20周年庆祝活动中，开罗大学孔子学院荣获“突出贡献组织机构”的称号。作为埃及“汉语桥”的推动者与践行者，孔院外方院长李哈布·麦哈茂德(Rehab Mahmoud)教授始终秉持多维度的人才培养模式，即革故鼎新，为使选手脱颖而出，孔院会规避往年的演讲内容和中华才艺，根据选手们的经历和特点量身设计参赛内容，形成独特的备战模式。学思融通，孔院不仅帮助选手逐步纠正语音、词汇、语法等方面的错误，还进一步拓宽了学生的历史、文化、当代中国等方面的知识储备，不断提升学生的综合素质。反哺母校，孔院鼓励“汉语桥”选手留校任教，辅导新选手，形成良性互动。



2008年からこれまでに、エジプトのカイロ大学孔子学院とカイロ大学中国語学科は「漢語橋」コンテストを何度も開催し、エジプトラウンドの特等賞選手を共同で10数人育成・選抜した。選手は中国で開催される決勝ラウンドに進んだ。そして、カイロ大学孔子学院は、中国の教育部中外言語交流協力センターが開催した「漢語橋」20周年記念イベントの中で、「突出貢献組織機構」の称号を晴れて獲得した。エジプトの「漢語橋」を推進し実践する者として、孔子学院の現地側院長のリハブ・マームード教授は、常に多角的な人材育成

モデルを持ち、すなわち「革故鼎新(古い方法を新しいものに改正すること)」である。具体的には、選手が頭角を現すために、それまでに披露されたスピーチの内容や中国の技能を避け、選手の経験と特徴に基づいてコンテストで披露する内容を決めるという独自の作戦を編み出した。そして、学習と個人の考えを融合させ、選手が発音、語彙、文法などの誤りを徐々に修正するのをサポートするだけでなく、生徒の歴史、文化、現代中国などの分野の知識をさらに広げて、その総合的な能力を絶えず向上させた。母校に恩返しをするため、孔子学院は「漢語橋」の選手が学校に残って教壇に立ち、新しい選手を指導することを奨励し、選手育成の好循環を生み出している。

开罗大学孔院将“汉语桥”视为一座以中文为载体、联通中国与埃及的人文交流的桥梁，依托这座桥梁，开罗大学孔院将培养更多的双语人才，推动中埃两国人民的文化交流向纵深发展。(李哈布·麦哈茂德供稿)

カイロ大学孔子学院は「漢語橋」を、中国語を通して中国とエジプトをつなぐ人文交流の懸け橋と位置づけている。そして、この懸け橋をよりどころとして、より多くのバイリンガル人材を育成し、中国とエジプトの人々の文化交流を深く発展させている。(リハブ・マームード氏寄稿)



加迪斯路易斯·科洛教父高中孔子课堂以翻译为媒推动汉语教学 カディスルイス・コロマ教父高校孔子教室の翻訳を通じた活動

西班牙加迪斯路易斯·科洛教父高中孔子课堂落成以来，每年都会筹备和庆祝“中国文化周”，除举办各种各样的文化活动外，还组织全校师生参加主题工作坊，其中最有特色的是开展图书翻译活动。

スペインのカディスルイス・コロマ教父高校孔子教室は設立以来、毎年「中国文化ウイーク」の準備をして祝っている。さまざまな文化イベントの開催のほか、全校の教師と生徒が参加するテーマ別ワークショップを組織し、その中で最も特徴的なのが図書翻訳活動の展開である。

路易斯·科洛教父高中孔子课堂的教师们，用中文翻译并出版发行了一系列中西双语书籍，譬如，路易斯·科洛教父 (Padre Luis Coloma) 的童话故事《老鼠佩雷斯》(Ratón Pérez)、何塞·马特奥斯 (José Mateos) 的格言选集《拣选出的寂静》(Silencios escogidos)、何塞法·帕拉 (Josefa Parra) 的诗集《职业·旅人》(De Profesión, Viajera)、塞巴斯蒂安·鲁维亚莱斯 (Sebastián Rubiales) 的短篇小说集《〈约定〉和其他短篇小说》(El pacto y otras novelas cortas) 等。在翻译过程中，译者积极与原作者进行探讨，交流作品中的深层含义，以期中文翻译能够更加贴合作品本意。

カディスルイス・コロマ教父高校孔子教室の教師は、スペイン語を中国語に翻訳した一連の中国語・スペイン語併記の書籍を出版した。例えば、ルイス・コロマ教父の童話『ネズミのペレス』、ホセ・マテオス氏の格言集『選ばれし静寂』、ホセファ・パラ氏の詩集『職業・旅人』、セバスチャン・ルビアレス氏の短編小説集『〈約束〉とその他短編小説』などが挙げられる。翻訳の過程で、翻訳者は原作者と積極的に検討して、作品の深層にある意味について意見を交わし、中国語の翻訳を作品の本来の意味により近づけようとしている。

路易斯·科洛教父高中孔子课堂以翻译为媒，不断推动汉语教学，促进中西文化的交流和沟通。这一活动模式很有意义，今后必将延续下去并发扬光大。(何塞·洛佩兹·罗梅罗 José López Romero 供稿)

カディスルイス・コロマ教父高校孔子教室は翻訳を通じて、中国語教育を絶えず推進し、中国とスペインの文化の交流やコミュニケーションを促進している。この活動モデルには大きな意義があり、今後も継続するとともに、大きな輝きを放つに違いない。(ホセ・ロペス・ロメロ氏寄稿) 

《孔子学院》征稿函

《孔子学院》由中国国际中文教育基金会主办、上海外国语大学协办，是拥有标准国际连续出版物刊号（ISSN）和中国国内统一刊号（CN）面向全球发行的出版物。该刊为双月刊，有中英、中法、中西、中俄、中德、中意、中葡、中阿、中泰、中韩、中日11个中外文对照版。

现需征稿，主题如下：

1. 国际中文教育，如教学、研究、考试；
2. 孔院故事，以个人视角讲述孔子学院故事，尤其欢迎在特色孔子学院、示范孔子学院、孔子学院联盟中发生的故事；
3. 中华文化、跨文化交流、当代中国社会生活。

投稿须知：

1. 文稿完整，包括题目、正文、署名和作者简介。
2. 字数为800-3000字，中文、外文、中外文对照皆可。欢迎提供配图，请附图片说明，不低于3MB，以附件形式发送。
3. 咨询、投稿邮箱：ci_journal@ci.cn。编辑部将在收稿10个工作日内，回复作者并确认收稿信息。

免责声明：投稿稿件要求原创、首发，稿件中不得含有任何违法内容，不得侵犯他人名誉权、隐私权、商业秘密等合法权益，否则引发的法律责任由投稿人承担。一经投稿，即视为作者将作品多语种的修改权、复制权、汇编权、翻译权、信息网络传播权及电子数码产品版权等著作权（署名权、保护作品完整权除外）在全球范围内转让给《孔子学院》编辑部。

《孔子学院》编辑部

『孔子学院』文章募集について

『孔子学院』は、中国国際中文教育基金会在主催し、上海外国語大学が協賛する、ISSN（国際標準逐次刊行物番号）とCN（中国国内統一発行番号）を持つ公式出版物として、全世界に刊行されるものである。本誌は隔月刊で、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、アラビア語、タイ語、韓国語、日本語、計11バージョンの中国語対照版がある。

文章を公開募集しており、テーマは以下の通りである。

- 1、国際的中国語教育（例：教育、研究、試験など）。
- 2、孔子学院にまつわる話。個人の視点で語る孔子学院のことを含めて、特に特色孔子学院、示范孔子学院、孔子学院連盟の中で起こったことの投稿を歓迎する。
- 3、中国文化、異文化コミュニケーション、現代中国の社会生活にまつわる話。

募集要項：

- 1、文章原稿は、タイトル、署名、本文、著者の経歴などを含むこと。
- 2、文章は800～3000語で、中国語、外国語、両国語対照のいずれかで作成すること。写真がある場合、名前や簡単な説明を付け、それぞれ3MB以上のサイズで論文ファイルに添付すること。
- 3、お問い合わせ・ご応募先：ci_journal@ci.cn。原稿は、編集部が受領してから10営業日以内に、受領確認の返信をする。

免責事項：投稿はオリジナルで初公開のものに限る。また、違法な内容を含んでいたり、他人の名誉権、プライバシー、商業秘密などの法的権利や利益を侵害してはならない。さもなければ、それらに起因する法的責任は投稿者が負うことになる。原稿が提出された時点で、著者は『孔子学院』編集委員会に、修正、複製、編集、翻訳、ネットワーク上での普及、電子デジタル製品の著作権（氏名表示権と作品の完全性を保護する権利を除く）を含む、複数言語による作品の著作権を譲渡したものとみなされる。

『孔子学院』編集部